

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	医学部の収容定員変更								
フリガナ設置者	コクリツガ ｲｶﾞ ｷｸｼﾝｼﾏﾈﾀﾞ ｲｶﾞ ｸ 国立大学法人島根大学								
フリガナ大学の名称	ｼﾏﾈﾀﾞ ｲｶﾞ ｸ 島根大学 (Shimane University)								
大学本部の位置	島根県松江市西川津町1060番地								
大学の目的	国立大学法人島根大学は、島根大学を設置し、大学の教育研究に対する国民の要請にこたえるとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図ることを目的とする。								
新設学部等の目的	島根県内の医師充足率は75.5%であり、中山間地・離島をはじめとした地域における医師不足状況は続き、県西部地区の充足率は東部地区に比べ低く、医療の地域間格差は依然として大きな問題である。島根県の医師不足の解消と定着率の向上に対して継続して取り組む必要があることから、緊急医師確保対策枠5名の再度の定員増を行うものである。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	（ ）内は平成29年度を期限とする医学部臨時定員の再度の定員増を行わなかった場合の、入学定員、編入学定員及び収容定員となる。 また、医学部医学科の平成29年度の入学定員102名のうち5名は平成21年度に「緊急医師確保対策」により、またうち5名は平成22年度に「経済財政改革の基本方針2009（骨太2009）」により、さらにうち2名は平成23年度に「新成長戦略」でそれぞれ臨時定員増を実施したものである。この他うち5名は、平成21年度の「経済財政改革の基本方針2008（骨太2008）」に基づき恒久定員増を実施したものである。 また、平成29年度の編入学定員は3年次編入が10名、収容定員は652名である。 今回の5名の入学定員の増員は平成29年度を期限とする医学部臨時定員の再度の定員増による平成31年度までの臨時定員増である。
	法文学部								
	法経学科	4	80	—	320	学士（法経）	平成16年4月第1年次	島根県松江市西川津町1060番地	
	社会文化学科	4	50	—	200	学士（社会科学）			
	言語文化学科	4	55	—	220	学士（文学）			
	学部共通			3年次10	20				
	教育学部								
	学校教育課程	4	130	—	520	学士（教育学）	平成16年4月第1年次	島根県松江市西川津町1060番地	
	人間科学部								
	人間科学科	4	80	—	320	学士（人間科学）	平成29年4月第1年次	島根県松江市西川津町1060番地	
	医学部								
	医学科	6	102(97)	3年次10	604(594)	学士（医学）	平成30年4月第1年次	島根県出雲市塩冶町89-1	
	看護学科	4	60	3年次10	260	学士（看護学）	平成11年4月第1年次		
	総合理工学部								
	物理・マテリアル工学科	4	73	3年次2	296	学士（総合理工学）	平成30年4月第1年次	島根県松江市西川津町1060番地	
	物質化学科	4	73	3年次2	296				
	地球科学科	4	50	3年次1	202				
	数理科学科	4	50	3年次1	202				
知能情報デザイン学科	4	50	3年次2	204					
機械・電気電子工学科	4	64	3年次2	260					
建築デザイン学科	4	40	3年次2	164					
生物資源科学部									
生命科学科	4	70	3年次3	286	学士（生物資源科学）	平成30年4月第1年次	島根県松江市西川津町1060番地		
農林生産学科	4	60	3年次9	258					
環境共生科学科	4	70	3年次3	286					
計		1157(1152)	57	4918(4908)					

新設学部等の概要	大学院人文社会科学研究所 (修士課程) 法経専攻	2	6	—	12	修士(法学又は経済学)	平成16年4月 第1年次	島根県松江市西川津町 1060番地	
	言語・社会文化専攻	2	6	—	12	修士(社会科学又は言語文化)			
	大学院教育学研究所 (専門職学位課程) 教育実践開発専攻	2	17	—	34	教職修士(専門職)	平成28年4月 第1年次	島根県松江市西川津町 1060番地	
	(修士課程) 臨床心理専攻	2	8	—	16	修士(教育学)	平成28年4月 第1年次		
	大学院医学系研究所 (医学博士課程) 医科学専攻	4	30	—	120	博士(医学)	平成20年4月 第1年次	島根県出雲市塩冶町 89-1	
	(博士前期課程) 看護学専攻	2	12	—	24	修士(看護学)	平成28年4月 第1年次		
	(博士後期課程) 看護学専攻	3	2	—	6	博士(看護学)	平成28年4月 第1年次		
	(修士課程) 医科学専攻	2	15	—	30	修士(医科学)	平成16年4月 第1年次		
	自然科学研究科 (博士前期課程) 理工学専攻	2	79	—	158	修士(理学又は工学)	平成30年4月 第1年次	島根県松江市西川津町 1060番地	
	環境システム科学専攻	2	78	—	156	修士(理学、工学又は生物資源科学)			
農生命科学専攻	2	43	—	86	修士(生物資源科学)				
総合理工学研究科 (博士後期課程) 総合理工学専攻	3	12	—	36	博士(理学、工学又は学術)	平成26年4月 第1年次	島根県松江市西川津町 1060番地		
計		308	—	690					
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	<p>《学部の学科の設置》  総合理工学部(400名) [3年次編入学定員12名]  物理・マテリアル工学科(73)(平成29年4月届出)  物質化学科(73)(平成29年4月届出)  地球科学科(50)(平成29年4月届出)  数理科学科(50)(平成29年4月届出)  知能情報デザイン学科(50)(平成29年4月届出)  機械・電気電子工学科(64)(平成29年4月届出)  建築デザイン学科(40)(平成29年4月届出)</p> <p>生物資源科学部(200名) [3年次編入学定員15名]  生命科学科(70)(平成29年4月届出)  農林生産学科(60)(平成29年4月届出)  環境共生科学科(70)(平成29年4月届出)</p> <p>《研究科の設置》  自然科学研究科博士前期課程(200名)  理工学専攻(79)(平成29年4月届出)  環境システム科学専攻(78)(平成29年4月届出)  農生命科学専攻(43)(平成29年4月届出)</p>								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位			
教	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等
				教授	准教授	講師	助教	計	助手
	新	法文学部法経学科		7人 (7)	9人 (9)	2人 (2)	0人 (0)	18人 (18)	0人 (0)
	法文学部社会文化学科		10 (10)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	6 (6)

員 組 織 の 概 分	法文学部言語文化学科	8 (8)	11 (11)	2 (2)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	5 (5)
	教育学部学校教育課程	49 (49)	31 (31)	8 (8)	0 (0)	88 (88)	0 (0)	28 (28)
	人間科学部人間科学科	8 (8)	9 (9)	3 (3)	4 (4)	24 (24)	0 (0)	16 (16)
	医学部医学科	43 (43)	25 (25)	5 (5)	69 (69)	142 (142)	1 (1)	300 (300)
	医学部看護学科	7 (7)	3 (3)	7 (7)	7 (7)	24 (24)	1 (1)	41 (41)
	総合理工学部物理・マテリアル工学科	10 (10)	8 (8)	1 (1)	4 (4)	23 (23)	0 (0)	39 (39)
	総合理工学部物質化学科	7 (7)	9 (9)	2 (2)	5 (5)	23 (23)	1 (1)	39 (39)
	総合理工学部地球科学科	6 (6)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	15 (15)	0 (0)	37 (37)
	総合理工学部数理科学科	6 (6)	4 (4)	5 (5)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	40 (40)
	総合理工学部知能情報デザイン学科	4 (4)	4 (4)	1 (1)	3 (3)	12 (12)	0 (0)	40 (40)
	総合理工学部機械・電気電子工学科	7 (7)	7 (7)	2 (2)	3 (3)	19 (19)	0 (0)	38 (38)
	総合理工学部建築デザイン学科	4 (4)	1 (1)	2 (2)	4 (4)	11 (11)	0 (0)	39 (39)
	生物資源科学部生命科学科	13 (13)	13 (13)	0 (0)	5 (5)	31 (31)	0 (0)	23 (23)
	生物資源科学部農林生産学科	9 (9)	10 (10)	1 (1)	7 (7)	27 (27)	0 (0)	24 (24)
	生物資源科学部環境共生科学科	10 (10)	12 (12)	1 (1)	9 (9)	32 (32)	0 (0)	24 (24)
	生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	計	209 (209)	168 (168)	45 (45)	124 (94)	546 (516)	3 (3)	— (—)
	要 分 設	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	合計		209 (209)	168 (168)	45 (45)	94 (94)	516 (516)	3 (3)
教員 以外 の 職員 の 概要	職 種		専 任		兼 任		計	大学全体
	事 務 職 員		308 (308)	人	0 (0)	人	308 (308)	人
	技 術 職 員		958 (958)		0 (0)		958 (958)	
	図 書 館 専 門 職 員		12 (12)		0 (0)		12 (12)	
	そ の 他 の 職 員		9 (9)		0 (0)		9 (9)	
計			1,287 (1,287)		0 (0)		1,287 (1,287)	
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計	大学全体
	校 舎 敷 地	261,438㎡	0㎡		0㎡		261,438㎡	
	運 動 場 用 地	90,630㎡	0㎡		0㎡		90,630㎡	
	小 計	352,068㎡	0㎡		0㎡		352,068㎡	
	そ の 他	6,126,623㎡	0㎡		0㎡		6,126,623㎡	
合 計		6,478,691㎡	0㎡		0㎡		6,478,691㎡	
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計	大学全体
		137,228㎡ (137,228㎡)	0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		137,228㎡ (137,228㎡)	
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設	大学全体
	71室	176室	438室		8室 (補助職員 4人)		3室 (補助職員 1人)	
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数		大学全体	
		大学全体			494 室			

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	964,239 [223,351] (964,239 [223,351])	15,254 [4,680] (15,254 [4,680])	7,700 [6,000] (7,700 [6,000])	7,011 (7,011)	30355 (30,355)	19 (19)		
	計	964,239 [223,351] (964,239 [223,351])	15,254 [4,680] (15,254 [4,680])	7,700 [6,000] (7,700 [6,000])	7,011 (7,011)	30355 (30,355)	19 (19)		
図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体			
		9,058㎡		880		911,450			
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
		3,915㎡		野球場 2面		テニスコート 15面			
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費（運営費交付金）による。
	教員1人当り研究費等		—	—	—	—	—	—	
	共同研究費等		—	—	—	—	—	—	
	図書購入費	—	—	—	—	—	—	—	
	設備購入費	—	—	—	—	—	—	—	
	学生1人当り納付金	第1年次 —千円	第2年次 —千円	第3年次 —千円	第4年次 —千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		—							
既設大学の状況	大学の名称	島根大学 (Shimane University)							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	法文学部	年	人	年次人	人				
	法経学科	4	80	—	320	学士(法経)	1.06	平成16年度	島根県松江市西川津町1060
	社会文化学科	4	50	—	200	学士(社会科学)	1.03		
	言語文化学科	4	55	—	220	学士(文学)	1.08		
	教育学部							平成16年度	島根県松江市西川津町1060
	学校教育課程	4	130	—	520	学士(教育学)	1.02		
	人間科学部							平成29年度	島根県松江市西川津町1060
	人間科学科	4	80	—	320	学士(人間科学)	1.02		
	医学部							平成15年度	島根県出雲市塩冶町89-1
	医学科	6	102	3年次10	652	学士(医学)	1.00		
	看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.01		
	総合理工学部			3年次12				平成15年度	島根県松江市西川津町1060
	物質科学科	4	130	—	520	学士(総合理工学)	1.02		
	地球資源環境学科	4	50	—	200		1.00		
	数理・情報システム学科	4	100	—	400		1.05		
	機械・電気電子工学科	4	80	—	320		1.00		
	建築・生産設計工学科	4	40	—	160		1.10		
	生物資源科学部			3年次20	40				島根県松江市西川津町1060
生物科学科	4	30	—	120	学士(生物資源科学)	1.03	平成15年度		
生命工学科	4	40	—	160		1.02	平成15年度		
農林生産学科	4	85	—	340		1.01	平成24年度		
地域環境科学科	4	45	—	180		1.05	平成24年度		
人文社会科学研究科								島根県松江市西川津町1060	
法経専攻	2	6	—	12	修士(法学)	1.16	平成16年度		
言語・社会文化専攻	2	6	—	12	修士(社会科学)				
					修士(言語文化)				
教育学研究科								島根県松江市西川津町1060	
教育実践開発専攻	2	—	—	—	修士(教育学)	—	平成20年度		
教育内容開発専攻	2	—	—	—	修士(教育学)	—	平成20年度		
教育実践開発専攻	2	17	—	34	教職修士(専門職)	1.11	平成28年度		
臨床心理専攻	2	8	—	16	修士(教育学)	1.18	平成28年度		

医学系研究科 医科学専攻 看護学専攻 医科学専攻 看護学専攻	4 3 2 2	30 2 15 12	— — — —	120 6 30 24	博士（医学） 博士（看護学） 修士（医科学） 修士（看護学）	1.06 1.5 0.86 1.00	平成20年度 平成28年度 平成16年度 平成15年度	島根県出雲市塩冶町89-1	
総合理工学研究科 総合理工学専攻  総合理工学専攻	3  2	12  124	—  —	36  248	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術） 修士（総合理工学） 修士（理学） 修士（工学）	1.02  0.97	平成26年度  平成24年度	島根県松江市西川津町1060	
生物資源科学研究科 生物生命科学専攻 農林生産科学専攻 環境資源科学専攻	2 2 2	20 22 18	— — —	40 44 36	修士（生物資源科学）	1.12 0.68 0.91	平成20年度	島根県松江市西川津町1060	
法務研究科 法曹養成専攻	3	—	—	—	法務博士（専門職）	—	平成16年度	島根県松江市西川津町1060	平成27年度より学生募集停止
附属施設の概要	<p>(附属学校)</p> <p>名称：教育学部附属幼稚園 目的：教育学部の教育研究計画と密接な連携のもとに、幼児に関する研究を行うこと。 教育学部の計画に従って、学生の教育実習の実施及びその指導に当たること。 教育研究の成果を広く公開し、地域の幼児教育の振興に寄与すること。 所在地：島根県松江市大輪町416-4 設置年月：昭和26年4月 規模等：建物 912㎡</p> <p>名称：教育学部附属小学校 目的：教育学部の教育研究計画と密接な連携のもとに、初等教育開発講座教育の理論及び実際に関する研究並びにその実験、実証を行うこと。 教育学部の計画に従って、学生の教育実習の実施及びその指導に当たること。 教育研究の成果を広く公開し、公立学校の研究や現職教育に協力して、地域の小学校教育の発展に寄与すること。 所在地：島根県松江市大輪町416-4 設置年月：昭和26年4月 規模等：建物 7,364㎡</p> <p>名称：教育学部附属中学校 目的：教育学部の教育研究計画と密接な連携のもとに、中等教育の理論及び実際に関する研究並びにその実験、実証を行うこと。 教育学部の計画に従って、学生の教育実習の実施及びその指導に当たること。 教育研究の成果を広く公開し、公立学校の研究や現職教育に協力して、地域の中学校教育の進展に寄与すること。 所在地：島根県松江市菅田町167-1 設置年月：昭和26年4月 規模等：建物 6,992㎡</p> <p>(学部等の附属施設)</p> <p>名称：法文学部山陰研究センター 目的：法文学部を中心とした、山陰地域における人文・社会科学の研究拠点として、資料の収集及び研究を積極的に推進し、その研究成果を公表することにより、地域の産業経済及び文化の発展に寄与する。 所在地：島根県松江市西川津町1060 設置年月：平成16年4月 規模等：建物 法文学部棟 7,631㎡の一部</p> <p>名称：教育学部附属教育支援センター 目的：授業科目の履修指導、生活指導及び教育体験活動にかかる学生指導を通じ、学生の教育実践力を特段に高めるとともに、他の教育機関及び地域社会と連携を図り、学生の教育臨床的態度・技能の指導及び地域社会の教育臨床的問題解決に貢献する。 所在地：島根県松江市西川津町1060 設置年月：平成16年4月 規模等：建物 教育学部実験研究棟 16,554㎡の一部</p> <p>名称：教育学部附属教師教育研究センター</p>								

附属施設の概要

目的：全学の教職課程を担当し、教職科目の改善を図り、教職課程関連カリキュラムを一元的に管理・運営するとともに、現職教員の資質能力向上に寄与する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成19年4月

規模等：建物 教育学部実験研究棟 16,554㎡の一部

名称：教育学部附属FD戦略センター

目的：教育学部における教員養成教育の改善、充実に資する教育課程の再編、授業の改善及び事業の企画・実施等のFD（ファカルティ・ディベロップメント）の活動を企画・立案、実施することを通して、山陰地域における教員養成基幹学部としての使命を達成する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成19年6月

規模等：建物 教育学部実験研究棟 16,554㎡の一部

名称：医学部附属病院

目的：診療を通じて医学の教育及び研究に資する。

所在地：島根県出雲市塩冶町89-1

設置年月：昭和54年4月

規模等：建物 57,972㎡（附属病院棟）

名称：医学部教育企画開発室

目的：医学・看護学教育の向上に資するための方策を総合的に企画・立案し、その充実に資する。

所在地：島根県出雲市塩冶町89-1

設置年月：平成16年4月

規模等：

名称：生物資源科学部附属生物資源教育研究センター

目的：生物資源科学部の附属教育研究施設として、農学・農業、林学・林業及び日本海における生物・海洋に関する教育・研究並びに森林・耕地・海洋を結ぶ生態系をめぐる物質循環の解明などを学際的に科学する教育・研究を行う。

所在地：（本部、農業生産科学部門）島根県松江市上本庄町2059

（森林科学部門）島根県大田市三瓶町多根941-1

（農業生産科学部門）島根県出雲市神西沖町字蛇島2473-1

（海洋生物科学部門）島根県隠岐郡隠岐の島町加茂194

設置年月：平成9年4月

規模等：建物 8,374㎡（総計）

（教育・学生支援機構）

名称：教育推進センター

目的：大学の教育目標を達成するため、大学教育に関する研究・開発及び企画並びに評価を行うとともに、全学に共通する教育の適正な実施運営の統括及び生涯教育の推進に資する教育研究成果の

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成25年4月

規模等：建物 教育学部実験研究室棟 16,554㎡の一部

名称：アドミッションセンター

目的：入学者選抜及び高大接続の改善・開発を行い、もって主体的に学び自らを高めようとする学生を確保する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成25年4月

規模等：建物 学生センター 1,400㎡の一部

名称：キャリアセンター

目的：学生のキャリア形成及び就職活動をより円滑に推進するため、全学的立場から支援する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成25年4月

規模等：建物 学生支援センター 656㎡の一部

名称：保健管理センター

目的：保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図る。

所在地：（松江）松江市西川津町1060

（出雲）出雲市塩冶町89-1

設置年月：平成25年4月

附属施設の概要

規模等：建物（松江） 479㎡  
（出雲） 大学会館（出雲） 1,998㎡の一部

名称：学生支援センター  
目的：学生支援業務を統括的に取り扱い、もって学生生活の充実に寄与する。  
所在地：島根県松江市西川津町1060  
設置年月：平成25年4月  
規模等：建物 学生支援センター 656㎡の一部

名称：障がい学生支援室  
目的：障がいのある学生の修学に必要な支援を行うとともに、支援の充実を図る。  
所在地：島根県松江市西川津町1060  
設置年月：平成28年4月  
規模等：建物 総合理工学部2号館の一部

(研究・学術情報機構)

名称：戦略的研究推進センター  
目的：本学が有する知的資産と知的創造力を活用し、地域に密着した個性的な研究及び国際水準の独創的な研究を集中的かつ戦略的に推進し、その成果を教育に反映するとともに広く社会に還元する。  
所在地：島根県松江市西川津町1060  
設置年月：平成28年4月  
規模等：

名称：エスチュアリー研究センター  
目的：汽水域の自然・人文・社会環境の研究等及び汽水域に関する総合的かつ学際的な研究を推進し、本学の教育研究活動及び学術交流の活性化を図るとともに、その研究成果を公表することにより、地域社会の発展及び国際学術交流の振興に資する。  
所在地：島根県松江市西川津町1060  
設置年月：平成28年4月  
規模等：建物 法文学部棟 7,631㎡の一部

名称：産学連携センター  
目的：本学と企業、地方公共団体等外部の機関との研究や知的財産などの活用面における連携を推進し、本学の教育研究の進展に資するとともに、地域社会における産業技術の振興及び発展に寄与する。  
所在地：島根県松江市北陵町2  
設置年月：平成28年4月  
規模等：建物 1,141㎡

名称：総合科学研究支援センター  
目的：生命、環境、物質・材料創成及びその融合領域に関する総合的な科学研究の深化を図るとともに、各学部等における研究を支援する。  
所在地：（松江キャンパス）島根県松江市西川津町1060  
（出雲キャンパス）島根県出雲市塩冶町89-1  
設置年月：平成28年4月  
規模等：（遺伝子機能解析部門・松江）建物 遺伝子実験施設 1,514㎡の一部  
（実験動物部門・出雲）建物 RI・動物実験施設 3,944㎡の一部  
（生体情報・RI実験部門・出雲）建物 共同研究棟 2,312㎡  
第二研究棟 3,715㎡の一部  
RI・動物実験施設 3,944㎡の一部  
（物質機能分析部門・松江）建物 総合理工学部1・2・3号館の一部

名称：総合情報処理センター  
目的：センターに置かれた情報処理システムを整備運用し、学内外の情報ネットワークとの連携を図り、本学における教育、研究その他の情報処理のための利用に供するとともに、学術情報システム等の開発を行い、あわせて人材の育成を支援し、本学における情報処理の進展に資する。  
所在地：島根県松江市西川津町1060  
設置年月：平成28年4月  
規模等：建物 683㎡

名称：地域包括ケア教育研究センター  
目的：地域住民の健康維持に関する総合的かつ学際的な研究を推進し、大学の教育研究活動及び学術交流の活性化を図るとともに、その研究成果を公表することにより、地域社会の発展及び国際学術交流の振興に資する。  
所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成29年4月  
 規模等：  
 名称：ミュージアム  
 目的：本学における標本資料類などを大学所有の有形知的財産として位置づけ、それらを収集、整理・保管及び調査研究をしたうえで、展示公開などによる教育、普及啓発、情報発信の促進及び地域貢献を行う。  
 所在地：島根県松江市西川津町1060  
 設置年月：平成28年4月  
 規模等：建物 155㎡

(グローバル化推進機構)

名称：国際交流センター  
 目的：本学の国際化及び国際交流の推進に向けて、各種事業の企画・立案するとともに、外国人留学生及び海外留学を希望する学生に対し、積極的な支援等を行うことにより、本学の国際交流の推進に寄与する。  
 所在地：島根県松江市西川津町1060  
 設置年月：平成25年4月  
 規模等：建物 学生センター 1,400㎡の一部

名称：外国語教育センター  
 目的：外国語教育の知的拠点として、言語的コミュニケーション能力を培う教育を行うことのほか、外国語教育を通じて総合的な知性・教養・人格を形成し、異文化理解と共生文化の創造に資する教育を行う。  
 所在地：島根県松江市西川津町1060  
 設置年月：平成25年4月  
 規模等：建物 教育学部実験研究室棟 16,554㎡の一部

名称：島根大学・寧夏大学国際共同研究所  
 目的：都市と農村との地域間格差問題、中山間地域（条件不利地域）の活性化、開発と環境問題などを主要なテーマとして共同研究を行い、研究成果をアジアをはじめとする世界に発信するとともに、人材の育成・交流の積極的な展開、国内外の研究者に開かれた中国・西部地域研究の拠点づくりを目指す。  
 所在地：中国、寧夏、銀川市西夏区賀蘭山西路489号 寧夏大学A区  
 設置年月：平成16年4月  
 規模等：建物 2,794㎡

名称：附属図書館  
 目的：図書、学術雑誌その他必要な資料を収集、組織、保管し、これを利用者の教育・研究・学習等の要求に対して提供し、併せて学術情報システム活用の場として機能することにより、島根大学における教育研究活動を支援するとともに、地域社会の知的情報拠点としての役割を果たす。  
 所在地：（本館）島根県松江市西川津町1060  
 （医学図書館）島根県出雲市塩冶町89-1  
 設置年月：（本館）平成28年4月  
 （医学図書館）平成28年4月  
 規模等：（本館）建物 6,834㎡  
 （医学図書館）建物 1,819㎡

名称：地域未来戦略センター  
 目的：本学が実施する地（知）の拠点整備事業（COC事業）及び地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）の取組みを円滑に遂行するとともに、本学における地方創生に係る取組みを推進・支援し、地域  
 所在地：島根県松江市西川津町1060  
 設置年月：平成27年10月  
 規模等：建物 総合理工学部2号館の一部

名称：山陰法実務教育研究センター  
 目的：本学が有する知的資産を有効に活用し山陰地域における法実務教育を行うとともに、そのための教育プログラム及び教育研究体制に関する調査研究を行い、もって山陰地域における法学教育の充実発展に寄与する。  
 所在地：島根県松江市西川津町1060  
 設置年月：平成26年2月  
 規模等：建物 法文学部棟 7,631㎡の一部

名称：こころとそだちの相談センター



目的：心の健康に関する相談に応じて地域社会に貢献するとともに、 心理臨床に関する高度な知識と技能を有する専門家の養成に資する
所在地：島根県松江市西川津町1060
設置年月：平成29年4月
規模等：

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

島根大学医学部収容定員変更に関わる組織の移行表

平成30年度 (再度定員増しない場合)	入学 定員	編入学 定員	収容 定員 (平成35 年度)	平成30年度 (再度定員増した場合)	入学 定員	編入学 定員	収容 定員 (平成35 年度)	変更の事由
島根大学								
法文学部	185	10	760	法文学部	185	10	760	
法経学科	80	-	320	法経学科	80	-	320	
社会文化学科	50	-	200	社会文化学科	50	-	200	
言語文化学科	55	-	220	言語文化学科	55	-	220	
学部共通		10	20	学部共通		10	20	
教育学部				教育学部				
学校教育課程	130	-	520	学校教育課程	130	-	520	
人間科学部				人間科学部				
人間科学科	80	-	320	人間科学科	80	-	320	
医学部	157	20	854	医学部	162	20	864	医学部医学科の入学定員のうち5名の措置期間を平成29年度までから平成31年度までに変更する。
医学科	97	10	594	医学科	102	10	604	医学部医学科の入学定員のうち12名は平成31年度までの措置。
看護学科	60	10	260	看護学科	60	10	260	
総合理工学部	400	12	1624	総合理工学部	400	12	1624	
物理・マテリアル工学科	73	2	296	物理・マテリアル工学科	73	2	296	
物質化学科	73	2	296	物質化学科	73	2	296	
地球科学科	50	1	202	地球科学科	50	1	202	
数理科学科	50	1	202	数理科学科	50	1	202	
知能情報デザイン学科	50	2	204	知能情報デザイン学科	50	2	204	
機械・電気電子工学科	64	2	260	機械・電気電子工学科	64	2	260	
建築デザイン学科	40	2	164	建築デザイン学科	40	2	164	
生物資源科学部	200	15	830	生物資源科学部	200	15	830	
生命科学科	70	3	286	生命科学科	70	3	286	
農林生産学科	60	9	258	農林生産学科	60	9	258	
環境共生科学科	70	3	286	環境共生科学科	70	3	286	
計	1152	57	4908	計	1157	57	4918	

○都道府県内における位置関係の図面

## 島根県



- …島根大学松江キャンパスの位置
- …島根大学出雲キャンパスの位置

# 島根大学出雲キャンパス

○最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

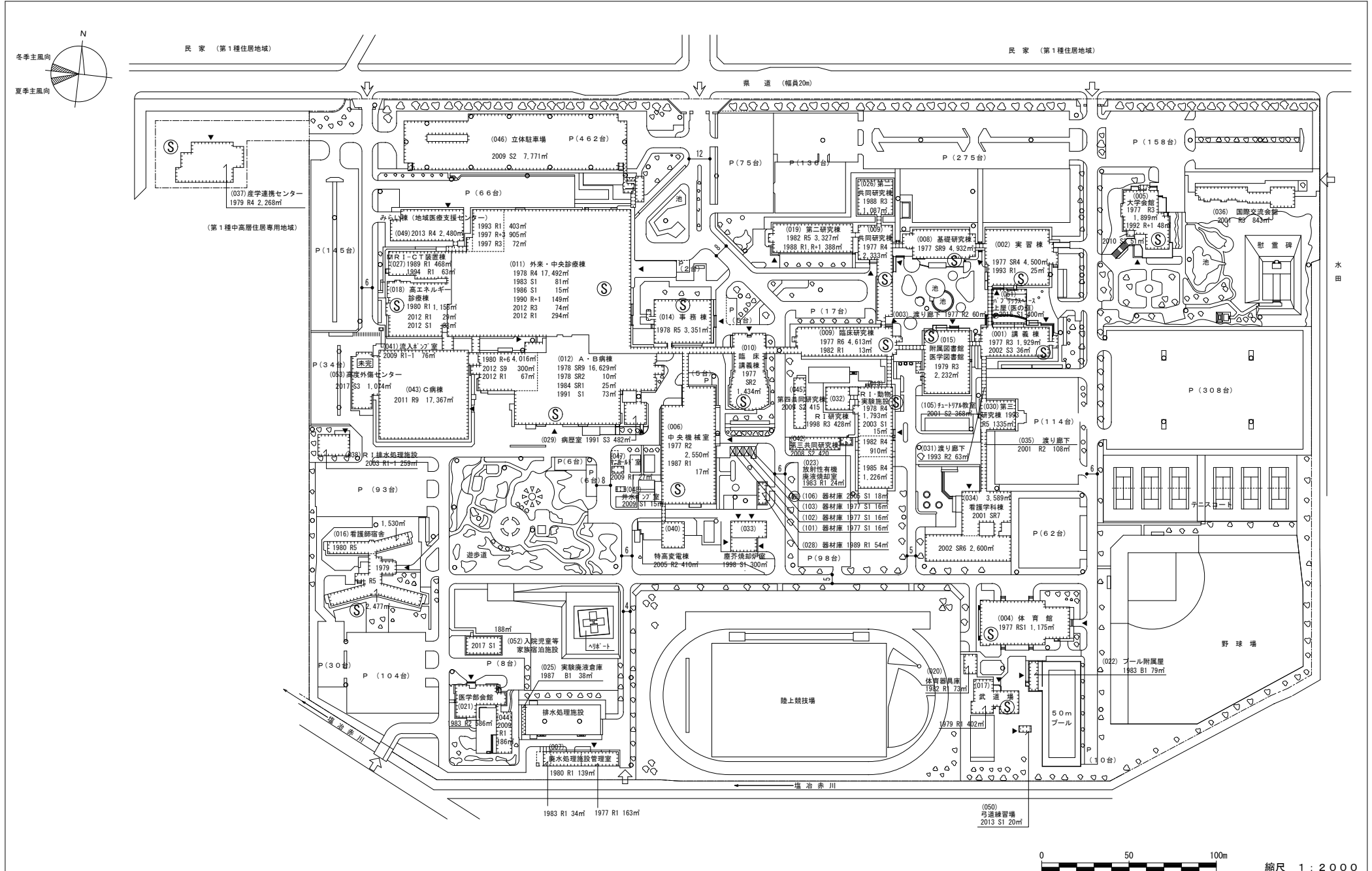


JR 出雲市駅より

距離：1.7km

一畑バス：島根大学病院下車 約10分

配置図



敷地面積	建築面積	建物延面積	建ぺい率	容積率	全学生数	学部等名	団地番号	団地名	所在地名	学校番号	学校名	作成年度
222,625㎡	42,245㎡	130,980㎡	19.0%	59.0%	1,104人	医学部	201	塩冶	出雲市塩冶町89-1	0512	鳥根大学	H29

国立大学法人島根大学管理学則

(平成16年島大学則第1号)  
(平成16年4月1日制定)  
〔平成16年10月1日一部改正〕  
〔平成16年10月27日一部改正〕  
〔平成16年12月22日一部改正〕  
〔平成17年3月8日一部改正〕  
〔平成17年3月8日一部改正〕  
〔平成17年3月22日一部改正〕  
〔平成17年10月26日一部改正〕  
〔平成17年12月28日一部改正〕  
〔平成17年12月28日一部改正〕  
〔平成18年3月8日一部改正〕  
〔平成18年3月22日一部改正〕  
〔平成18年12月19日一部改正〕  
〔平成19年3月26日一部改正〕  
〔平成19年6月19日一部改正〕  
〔平成20年3月25日一部改正〕  
〔平成20年7月22日一部改正〕  
〔平成21年3月17日一部改正〕  
〔平成21年4月21日一部改正〕  
〔平成22年1月26日一部改正〕  
〔平成22年3月17日一部改正〕  
〔平成23年3月23日一部改正〕  
〔平成24年3月19日一部改正〕  
〔平成24年6月22日一部改正〕  
〔平成25年3月14日一部改正〕  
〔平成25年9月9日一部改正〕  
〔平成25年10月15日一部改正〕  
〔平成26年1月29日一部改正〕  
〔平成26年3月19日一部改正〕  
〔平成26年7月14日一部改正〕  
〔平成27年1月29日一部改正〕  
〔平成27年3月18日一部改正〕  
〔平成27年3月25日一部改正〕  
〔平成27年6月25日一部改正〕  
〔平成27年10月1日一部改正〕  
〔平成28年3月15日一部改正〕  
〔平成28年6月24日一部改正〕  
〔平成29年2月2日一部改正〕

[平成29年2月2日一部改正]

[平成29年3月14日一部改正]

最終改正：平成30年3月 予定

## 目次

### 第1章 法人

- 第1節 総則（第1条・第2条）
- 第2節 役員及び職員組織等（第3条・第4条）
- 第3節 会議（第5条―第8条）

### 第2章 大学

- 第1節 大学の構成（第9条―第21条）
- 第2節 職員組織その他（第22条―第38条）
- 第3節 会議（第39条・第40条）
- 第4節 削除
- 第5節 学部の収容定員（第42条）

### 第3章 大学院

- 第1節 大学院の構成（第43条―第46条）
- 第2節 大学院の収容定員（第47条）
- 第3節 教員組織（第48条―第50条）

### 第4章 教育内容等の改善のための組織的な研修等（第51条）

### 第5章 雑則（第52条）

## 附則

### 第1章 法人

#### 第1節 総則

（法人の目的）

第1条 国立大学法人島根大学（以下「法人」という。）は、島根大学を設置し、大学の教育研究に対する国民の要請にこたえとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図ることを目的とする。

（業務の範囲等）

第2条 法人は、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 島根大学（以下「本学」という。）を設置し、これを運営すること。
- 二 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。
- 三 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。
- 四 公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会を提供すること。
- 五 島根大学における研究の成果を普及し、及びその活動を推進すること。
- 六 島根大学における技術に関する研究の成果の活用を促進する事業であつて国立大学法人法施行令（平成15年政令第478号）で定めるものを実施する者に出資すること。

七 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。

#### 第2節 役員及び職員組織等

(役員)

第3条 法人に、国立大学法人法（平成15年法律第112号。以下「法人法」という。）第10条に基づき、役員として学長、監事及び理事を置く。

2 役員に関し必要な事項は、別に定める。

(職員)

第4条 法人に次の職員を置く。

- 一 一般職員
- 二 教育職員
- 三 医療職員
- 四 特別職員
- 五 その他の職員

2 職員の職務は、学校教育法（昭和22年法律第26号）の定めるところによるほか、学長が定めるものとする。

3 第1項第2号の教育職員のうち、教授、准教授、講師、助教及び助手を教員という。

4 職員に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第3節 会議

(役員会)

第5条 法人に、法人法第11条第2項に基づき、法人の重要事項について学長の意思決定に先立ち議決を行う機関として、役員会を置く。

2 役員会に関し、必要な事項は、別に定める。

(経営協議会)

第6条 法人に、法人法第20条に基づき、法人の経営に関する重要事項を審議する機関として、経営協議会を置く。

2 経営協議会に関し、必要な事項は、別に定める。

(教育研究評議会)

第7条 法人に、法人法第21条に基づき、本学の教育研究に関する重要事項を審議する機関として、教育研究評議会を置く。

2 教育研究評議会に関し、必要な事項は、別に定める。

(学長選考会議)

第8条 法人に、法人法第12条第2項及び第17条第4項に基づき、学長の選考又は解任に係る申出を行う機関として、学長選考会議を置く。

2 学長選考会議に関し、必要な事項は、別に定める。

### 第2章 大学

#### 第1節 大学の構成

(学部)

第9条 本学に次の学部を置く。

- 法文学部
- 教育学部



人間科学部  
医学部  
総合理工学部  
生物資源科学部

(学科・課程及び講座)

第10条 法文学部に次の学科及び講座を置く。

法経学科

法経

社会文化学科

社会文化

言語文化学科

言語文化

2 教育学部に次の課程及び講座を置く。

学校教育課程

初等教育開発，言語文化教育，共生社会教育，数理基礎教育，自然環境教育，健康・スポーツ教育，芸術表現教育

3 人間科学部に次の学科を置く。

人間科学科

4 医学部に次の学科，系及び講座を置く。

医学科

基礎医学系

解剖学，生理学，生化学，生命科学

臨床基礎医学系

薬理学，病理学，微生物学，免疫学

社会医学系

法医学，環境保健医学，医療情報学，医学英語教育学

臨床医学系

内科学，皮膚科学，小児科学，外科学，整形外科学，脳神経外科学，泌尿器科学，精神医学，産科婦人科学，耳鼻咽喉科学，眼科学，放射線医学，麻酔科学，緩和ケア，歯科口腔外科学，臨床検査医学，救急医学，Acute Care Surgery，リハビリテーション医学，地域医療教育学，地域医療政策学

看護学科

基礎看護学，臨床看護学，地域・老年看護学

5 総合理工学部に次の学科を置く。

物質科学科

地球資源環境学科

数理・情報システム学科

機械・電気電子工学科

建築・生産設計工学科

6 生物資源科学部に次の学科を置く。

生物科学科  
生命工学科  
農林生産学科  
地域環境科学科

第11条 削除

(大学院の設置)

第12条 本学に大学院を置く。

(附属病院)

第13条 医学部附属の教育研究施設として、医学部附属病院(以下「附属病院」という。)を置く。

(附属学校)

第14条 本学に次の学部附属学校を置く。

教育学部 附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校

2 前項の附属学校に学習生活支援研究センターを置く。

(学部附属の教育研究施設)

第15条 本学に次の学部附属の教育施設又は研究施設を置く。

法文学部 山陰研究センター

教育学部 教育支援センター, 教師教育研究センター, F D戦略センター

医学部 教育企画開発室

生物資源科学部 生物資源教育研究センター

2 前項に掲げる生物資源教育研究センターは、本学の教育研究上支障がないと認められるときは、他の大学の利用に供することができるものとする。

(機構)

第16条 本学に、本学の教育研究に係る全学的な業務を円滑かつ効果的に実施する組織として、次の機構を置く。

教育・学生支援機構

研究・学術情報機構

グローバル化推進機構

(機構に置くセンター等)

第17条 教育・学生支援機構に次のセンター等を置く。

教育推進センター

アドミッションセンター

キャリアセンター

保健管理センター

学生支援センター

障がい学生支援室

2 研究・学術情報機構に次のセンター等を置く。

戦略的研究推進センター

エスチュアリー研究センター

産学連携センター

総合科学研究支援センター

総合情報処理センター

地域包括ケア教育研究センター

ミュージアム

3 グローバル化推進機構に次のセンター等を置く。

国際交流センター

外国語教育センター

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

(附属図書館)

第17条の2 本学に附属図書館を置く。

2 前項の附属図書館に分館を置く。

(大学戦略企画室)

第17条の3 本学に、大学運営の重点事項について学長の意思・意向を的確に反映するため大学戦略企画室を置く。

(評価室)

第17条の4 本学に、評価に関する業務を行うため評価室を置く。

(研究推進室)

第17条の5 本学に、研究力の強化及び研究の推進を行うため研究推進室を置く。

(広報戦略室)

第17条の6 本学に、全学的な広報戦略を企画・立案するため広報戦略室を置く。

(男女共同参画推進室)

第17条の7 本学に、男女共同参画の推進及び女性研究者支援に関する具体的事業を企画・立案・実施するため男女共同参画推進室を置く。

(ハラスメント対策室)

第17条の8 本学に、全学的なハラスメント防止とハラスメント事案への対応の充実を図るためハラスメント対策室を置く。

(インスティテューショナル・リサーチ室)

第17条の9 本学に、機能強化の推進及び大学運営の改善に資するためインスティテューショナル・リサーチ室を置く。

(地域未来戦略センター)

第18条 本学に、地方創生及び地域活性化に資する教育、研究及び社会貢献活動の推進・支援を図り、地(知)の拠点としての機能を果たすため地域未来戦略センターを置く。

(山陰法実務教育研究センター)

第19条 本学に、山陰地域における法学教育の充実発展に寄与するため山陰法実務教育研究センターを置く。

(こころとそだちの相談センター)

第19条の1の2 本学に、心の健康に関する相談に応じて地域社会に貢献するとともに、心理臨床に関する高度な知識と技能を有する専門家の養成に資するためこころとそだちの相談センターを置く。

(寄附講座等)

第19条の2 本学に、寄附講座、寄附研究部門又は寄附研究分野を置くことができる。

(共同研究講座等)

第19条の3 本学に、共同研究講座又は共同研究部門を置くことができる。

(事務組織)

第20条 本学に、その事務を処理するため事務組織を置く。

(規則)

第21条 第13条から前条までに関し必要な事項は、別に定める。

第2節 職員組織その他

(学長)

第22条 本学に学長を置く。

2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

第23条 本学に副学長を置く。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

(学長特別補佐)

第23条の2 本学に、学長特別補佐を置くことができる。

2 学長特別補佐は、学長の職務を助け、学長が指定する業務を処理する。

(学部長)

第24条 本学の各学部に学部長を置く。ただし、総合理工学部長は、総合理工学研究科長をもって充てる。

2 学部長は、その学部に関する校務をつかさどる。

(副学部長)

第25条 本学の各学部に副学部長を置く。ただし、総合理工学部副学部長は、総合理工学研究科副研究科長をもって充てる。

2 副学部長は、学部長の職務を助け、学部長の職務のうちあらかじめ定める範囲内の業務を処理する。

(学科長)

第26条 学科に学科長を置くことができる。

2 学科長は、その学科に関する事項を整理する。

(病院長)

第27条 附属病院に病院長を置く。

2 病院長は、附属病院に関する事項を掌理する。

(副病院長)

第28条 附属病院に副病院長を置くことができる。

2 副病院長は、病院長の職務を助ける。

(附属学校園の長)

第29条 附属学校に校長(幼稚園にあつては園長)を置く。

2 附属学校の校長及び園長は、教育学部長の命を受け、その学校及び幼稚園に関する事項を処理する。

(学部附属の教育研究施設の長)

第30条 本学の学部附属の教育施設及び研究施設に長を置く。

2 前項の教育施設及び研究施設の長は、当該学部長の命を受け、その施設に関する事項を処理する。  
(機構長)

第31条 本学の各機構に機構長を置く。

2 前項の機構長は、その所掌する機構の業務を総括する。

(機構に置くセンター等の長)

第32条 機構に置くセンター等に長を置く。

2 機構に置くセンター等の長は、その所掌するセンター等の業務を掌理する。

(機構に置くセンター等の副センター長等)

第33条 機構に置くセンター等に副センター長等を置くことができる。

2 副センター長等は、センター等の長の職務を助ける。

第34条から第36条まで 削除

(事務局長)

第37条 学長の下に、事務組織を総括するために事務局長を置く。

2 前項の規定にかかわらず、学長が指名する理事に事務組織を総括させることができる。

(名誉教授)

第38条 本学の学長、副学長、学部長、教授、准教授又は講師として勤務した者であって、教育上又は学術上特に功績のあった者に対し、名誉教授の称号を授与することができる。

2 名誉教授の称号の授与に関し、必要な事項は、別に定める。

#### 第3節 会議

(部局連絡協議会)

第39条 本学に、円滑な大学運営に資するため、部局連絡協議会を置く。

2 部局連絡協議会に関し、必要な事項は、別に定める。

(教授会等)

第40条 本学の各学部及び総合理工学研究科（以下「学部等」という。）に教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一 学生の入学、卒業及び課程の修了

二 学位の授与

三 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 本学の各機構については、機構管理委員会を置く。

5 教授会及び機構管理委員会に関し、必要な事項は、別に定める。

#### 第4節 削除

第41条 削除

#### 第5節 学部の収容定員

(収容定員)

第42条 学部、学科等の収容定員は、次のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	入学定員	第3年次編	収容定員
-----	---------	------	-------	------

			入学定員	
法文学部	法経学科	80	10	320
	社会文化学科	50		200
	言語文化学科	55		220
	計	185		760
教育学部	学校教育課程	130		520
	計	130		520
人間科学部	人間科学科	80		320
	計	80		320
医学部	医学科	90	10	580
	看護学科	60	10	260
	計	150	20	840
総合理工学部	物質科学科	130	12	520
	地球資源環境学科	50		200
	数理・情報システム学科	100		400
	機械・電気電子工学科	80		320
	建築・生産設計工学科	40		160
				24
	計	400		12
生物資源科学部	生物科学科	30	20	120
	生命工学科	40		160
	農林生産学科	85		340
	地域環境科学科	45		180
				40
	計	200		20
合計		1,145	62	4,904

### 第3章 大学院

#### 第1節 大学院の構成等

(研究科)

第43条 大学院に次の研究科を置く。

人文社会科学研究科

教育学研究科

医学系研究科

総合理工学研究科

生物資源科学研究科

(課程)

第44条 人文社会科学研究科及び生物資源科学研究科は、修士課程とする。

2 総合理工学研究科は、博士課程とする。

3 総合理工学研究科の博士課程は、前期2年の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

4 医学系研究科は、医学を履修する博士課程（以下「医学博士課程」という。）及び修士課程並びに看護学を履修する博士課程とする。

5 医学系研究科の看護学を履修する博士課程は、博士前期課程及び博士後期課程に区分し、博士前

期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

6 教育学研究科は、専門職学位課程及び修士課程とする。

(専攻)

第45条 研究科に次の専攻を置く。

人文社会科学研究科

法経専攻

言語・社会文化専攻

教育学研究科

教育実践開発専攻

臨床心理専攻

医学系研究科

医学博士課程

医科学専攻

修士課程

医科学専攻

博士前期課程

看護学専攻

博士後期課程

看護学専攻

総合理工学研究科

博士前期課程

総合理工学専攻

博士後期課程

総合理工学専攻

生物資源科学研究科

生物生命科学専攻

農林生産科学専攻

環境資源科学専攻

(領域)

第45条の2 総合理工学研究科に次の領域を置く。

物理・材料科学，物質化学，地球資源環境学，数理科学，情報システム学，機械・電気電子工学，建築・生産設計工学

(鳥取大学大学院連合農学研究科の教育研究の実施)

第46条 鳥取大学大学院の連合農学研究科の教育研究の実施に当たっては、本学、鳥取大学及び山口大学が協力するものとする。

2 前項の連合農学研究科に置かれる連合講座は、鳥取大学の農学部及び乾燥地研究センター並びに山口大学の農学部の教員とともに、本学生物資源科学部の教員がこれを担当し、又は分担するものとする。

第2節 大学院の収容定員

(収容定員)

第47条 大学院の収容定員は、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	修士課程 博士前期課程		医学博士課程 博士後期課程		専門職学位課程	
		入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員
人文社会科学 学研究科	法経専攻	6	12	—	—	—	—
	言語・社会文化専攻	6	12	—	—	—	—
	計	12	24	—	—	—	—
教育学研究 科	教育実践開発専攻	—	—	—	—	17	34
	臨床心理専攻	8	16	—	—	—	—
	計	8	16	—	—	17	34
医学系研究 科	医科学専攻	—	—	30	120	—	—
	医科学専攻	15	30	—	—	—	—
	看護学専攻	12	24	2	6	—	—
	計	27	54	32	126	—	—
総合理工学 研究科	総合理工学専攻	124	248	12	36	—	—
	計	124	248	12	36	—	—
生物資源科 学研究科	生物生命科学専攻	20	40	—	—	—	—
	農林生産科学専攻	22	44	—	—	—	—
	環境資源科学専攻	18	36	—	—	—	—
	計	60	120	—	—	—	—
合計		231	462	44	162	17	34

### 第3節 教員組織

(教員組織)

第48条 研究科における研究の指導は原則として教授が行い、授業は教授、准教授、講師又は助教が担当する。

(研究科長)

第49条 研究科に研究科長を置く。

2 研究科長（総合理工学研究科長を除く。）は、基礎となる学部の学部長をもって充てる。

(副研究科長)

第49条の2 総合理工学研究科に副研究科長を置く。

2 研究科（総合理工学研究科を除く。）に副研究科長を置くことができる。

(領域長)

第49条の3 領域に領域長を置く。

2 領域長は、その領域に関する事項を整理する。

(研究科委員会)

第50条 研究科（総合理工学研究科を除く。）に、教育研究に関する重要事項を審議するため、研究科委員会を置く。

2 前項に定めるもののほか、研究科委員会に関し必要な事項は、各研究科において定める。

### 第4章 教育内容等の改善のための組織的な研修等

(組織的な研修等)

第51条 本学は、学部においては授業の内容及び方法の改善を図るため全学及び学部等ごとに、研究科においては授業及び研究指導の内容並びに方法の改善を図るため研究科ごとに、組織的な研修



及び研究を実施するものとする。

## 第5章 雑則

(学則の改廃)

第52条 この学則の改廃は、役員会の議を経て行う。

- 2 前項の役員会の審議に先立ち、法人の経営に関する部分については経営協議会において、国立大学法人の経営に関する部分を除く部分については教育研究評議会において審議を行うものとする。

### 附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 旧島根大学法文学部の法学科及び社会システム学科並びに教育学部の学校教育教員養成課程、生涯学習課程並びに生活環境福祉課程は、第10条の規定にかかわらず、当該学科又は課程に在学する者が当該学科又は課程に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 法文学部及び教育学部の収容定員並びに全学部の収容定員は、第42条の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度については、次の表のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	収容定員		
		平成16年度	平成17年度	平成18年度
法文学部	法経学科	90	180	270
	社会文化学科	70	140	210
	言語文化学科	275	270	265
	法学科	435	290	145
	社会システム学科	285	190	95
	計	1,175	1,090	1,005
教育学部	学校教育課程	170	340	510
	学校教育教員養成課程	300	200	100
	生涯学習課程	195	130	65
	生活環境福祉課程	105	70	35
	計	770	740	710
合計		5,235	5,120	5,005

- 4 旧島根大学大学院人文社会科学研究科の法学専攻、社会システム専攻及び言語文化専攻は、第47条の規定にかかわらず、当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 5 人文社会科学研究科及び医学系研究科医科学専攻の収容定員並びに全研究科の修士課程・博士前期課程の収容定員は、第47条の規定にかかわらず、平成16年度については、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員
人文社会科学研究科	法経専攻	6
	言語・社会文化専攻	6
	法学専攻	8
	社会システム専攻	4
	言語文化専攻	4
	計	28
医学系研究科	医科学専攻	15
	計	39
合計		513

- 5 法務研究科の収容定員及び全研究科の専門職学位課程の収容定員は、第47条の規定にかかわらず、平成16年度及び平成17年度については、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	
		平成16年度	平成17年度
法務研究科	法曹養成専攻	30	60
	計	30	60
合計		30	60

附 則

この学則は、平成16年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年12月22日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年3月8日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年3月22日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年10月26日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年12月28日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年1月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

2 この学則による改正後の国立大学法人島根大学管理学則第15条の法文学部に係る規定は、平成16年4月21日から適用し、医学部に係る規定は、平成16年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年6月19日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

2 教育学研究科の学校教育専攻及び教科教育専攻、医学系研究科の形態系専攻、機能系専攻、生態系専攻並びに生物資源科学研究科の生物科学専攻、生態環境科学専攻、生命工学専攻、農業生産学専攻及び地域開発科学専攻は、第45条の規定にかかわらず、当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 教育学研究科及び生物資源科学研究科の収容定員並びに全研究科の修士課程・博士前期課程の収容定員は、第47条の規定にかかわらず、平成20年度については、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員
教育学研究科	教育実践開発専攻	20

	教育内容開発専攻	20
	学校教育専攻	5
	教科教育専攻	30
	計	75
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	20
	農林生産科学専攻	22
	環境資源科学専攻	18
	生物科学専攻	12
	生態環境科学専攻	18
	生命工学専攻	12
	農業生産学専攻	12
	地域開発科学専攻	22
	計	136
合計	513	

- 4 医学系研究科博士課程の収容定員は、第47条の規定にかかわらず、平成20年度から平成22年度については、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員		
		平成20年度	平成21年度	平成22年度
医学系研究科	医科学専攻	30	60	90
	形態系専攻	24	16	8
	機能系専攻	45	30	15
	生態系専攻	21	14	7
	計	120	120	120

附 則

この学則は、平成20年7月22日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学生定員及び収容定員は、第42条の規定にかかわらず、平成21年度から平成34年度については、次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医学部	医学科	95	95	95	95	95	95	95
	計	155	155	155	155	155	155	155
合計		1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150

学部	学科又は課程	入学定員						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
医学部	医学科	95	95	90	90	90	90	90
	計	155	155	150	150	150	150	150
合計		1,150	1,150	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145

学部	学科又は課程	収容定員						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医学部	医学科	560	570	580	590	600	610	610
	計	820	830	840	850	860	870	870

合計	4,900	4,910	4,920	4,930	4,940	4,950	4,950
----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

学部	学科又は課程	収容定員						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
医学部	医学科	610	610	605	600	595	590	585
	計	870	870	865	860	855	850	845
合計		4,950	4,950	4,945	4,940	4,935	4,930	4,925

附 則

この学則は、平成21年4月21日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員及び収容定員は、第42条の規定にかかわらず、平成22年度から平成36年度については、次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医学部	医学科	100	100	100	100	100
	計	160	160	160	160	160
合計		1,155	1,155	1,155	1,155	1,155

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
医学部	医学科	100	100	100	95	95
	計	160	160	160	155	155
合計		1,155	1,155	1,155	1,150	1,150

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
医学部	医学科	90	90	90	90	90
	計	150	150	150	150	150
合計		1,145	1,145	1,145	1,145	1,145

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医学部	医学科	575	590	605	620	635
	計	835	850	865	880	895
合計		4,915	4,930	4,945	4,960	4,975

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
医学部	医学科	640	640	640	635	630
	計	900	900	900	895	890
合計		4,980	4,980	4,980	4,975	4,970

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度
医学部	医学科	620	610	600	590	585
	計	880	870	860	850	845
合計		4,960	4,950	4,940	4,930	4,925

3 法務研究科の収容定員及び全研究科の専門職学位課程の収容定員は、第47条の規定にかかわらず、平成22年度及び平成23年度については、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	
		平成22年度	平成23年度
法務研究科	法曹養成専攻	80	70
	計	80	70
合計		80	70

附 則

- この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員及び収容定員は、第42条の規定にかかわらず、平成23年度から平成36年度については、次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
医学部	医学科	102	102	102	102	102
	計	162	162	162	162	162
合計		1,157	1,157	1,157	1,157	1,157

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
医学部	医学科	102	102	97	97	90
	計	162	162	157	157	150
合計		1,157	1,157	1,152	1,152	1,145

学部	学科又は課程	入学定員			
		平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度
医学部	医学科	90	90	90	90
	計	150	150	150	150

合計	1, 145	1, 145	1, 145	1, 145
----	--------	--------	--------	--------

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医学部	医学科	592	609	626	643	650
	計	852	869	886	903	910
合計		4, 932	4, 949	4, 966	4, 983	4, 990

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
医学部	医学科	652	652	647	642	630
	計	912	912	907	902	890
合計		4, 992	4, 992	4, 987	4, 982	4, 970

学部	学科又は課程	収容定員			
		平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
医学部	医学科	618	606	594	587
	計	878	866	854	847
合計		4, 958	4, 946	4, 934	4, 927

附 則

- この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 総合理工学部の電子制御システム工学科及び材料プロセス工学科並びに生物資源科学部の生態環境科学科、農業生産学科及び地域開発科学科は、第10条の規定にかかわらず、当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 総合理工学部及び生物資源科学部の収容定員は、第42条の規定にかかわらず、平成24年度から平成26年度については、次の表のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	収容定員		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
総合理工学部	機械・電気電子工学科	80	160	240
	建築・生産設計工学科	40	80	120
	電子制御システム工学科	240	160	80
	材料プロセス工学科	120	80	40
	計	1, 632	1, 624	1, 624
生物資源科学部	農林生産学科	85	170	255
	地域環境科学科	45	90	135
	生態環境科学科	135	90	45
	農業生産学科	90	60	30
	地域開発科学科	165	110	55
	計	840	840	840

- 全学部の収容定員は、第42条の規定にかかわらず、平成24年度から平成36年度については、次の表のとおりとする。

	収容定員				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
合計	4,941	4,950	4,967	4,974	4,976

	収容定員				
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
合計	4,976	4,971	4,966	4,954	4,942

	収容定員		
	平成34年度	平成35年度	平成36年度
合計	4,930	4,918	4,911

5 総合理工学研究科の物質科学専攻，地球資源環境学専攻，数理・情報システム学専攻，電子制御システム工学専攻及び材料プロセス工学専攻は，第45条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

6 総合理工学研究科博士前期課程の収容定員及び全研究科の修士課程・博士前期課程の収容定員は，第47条の規定にかかわらず，平成24年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員
総合理工学研究科	総合理工学専攻	124
	物質科学専攻	36
	地球資源環境学専攻	14
	数理・情報システム学専攻	28
	電子制御システム工学専攻	22
	材料プロセス工学専攻	12
	計	236
合計		514

附 則

この学則は，平成24年7月1日から施行する。

附 則

この学則は，平成25年4月1日から施行する。

附 則

この学則は，平成25年9月9日から施行する。

附 則

この学則は，平成25年10月15日から施行する。

附 則

1 この学則は，平成26年2月1日から施行する。ただし，第10条第3項の改正規定中地域・老年看護学に係る部分並びに第45条，第45条の2，第47条及び第49条の3の改正規定は，平成26年4月1日から施行する。

2 総合理工学研究科のマテリアル創成工学専攻及び電子機能システム工学専攻は，第45条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

3 総合理工学研究科博士後期課程の収容定員は，第47条の規定にかかわらず，平成26年度及び平成27年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員
------	-----	------

		平成26年度	平成27年度
総合理工学研究科	総合理工学専攻	12	24
	マテリアル創成工学専攻	12	6
	電子機能システム工学専攻	12	6
	計	36	36

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年7月14日から施行し、平成26年7月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 法務研究科法曹養成専攻は、第45条の規定にかかわらず、当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 法務研究科法曹養成専攻の収容定員は、第47条の規定にかかわらず、平成27年度及び平成28年度については、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	
		平成27年度	平成28年度
法務研究科	法曹養成専攻	40	20
	計	40	20
合計		40	20

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年7月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 教育学研究科修士課程の教育実践開発専攻及び教育内容開発専攻は、第45条の規定にかかわらず、当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 教育学研究科修士課程及び教育学研究科専門職学位課程の収容定員並びに全研究科の修士課程及び専門職学位課程の収容定員は、第47条の規定にかかわらず、平成28年度については、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	修士課程	専門職学位課程
		博士前期課程	
		収容定員	収容定員



教育学研究科	教育実践開発専攻	20	17
	臨床心理専攻	8	—
	教育内容開発専攻	20	—
合計		494	37

4 医学系研究科看護学専攻博士後期課程の収容定員及び全研究科の博士後期課程の収容定員は、第47条の規定にかかわらず、平成28年度及び平成29年度については、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	
		平成28年度	平成29年度
医学系研究科	看護学専攻	2	4
合計		158	160

附 則

この学則は、平成28年7月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成29年2月2日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。

2 法文学部、教育学部及び人間科学部の収容定員は、第42条の規定にかかわらず、平成29年度から平成31年度については、次の表のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	収容定員		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
法文学部	法経学科	350	340	330
	社会文化学科	260	240	220
	言語文化学科	250	240	230
	計	860	820	780
教育学部	学校教育課程	640	600	560
	計	640	600	560
人間科学部	人間科学科	80	160	240
	計	80	160	240

附 則

この学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成28年島大学則第1号附則第3項の改正規定は、平成28年4月1日から適用する。

附 則

1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

2 医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員及び収容定員は、第42条の規定にかかわらず、平成30年度から平成36年度については、次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
医学部	医学科	102	102	90	90	90
	計	162	162	150	150	150
合計		1,157	1,157	1,145	1,145	1,145

学部	学科又は課程	入学定員	
		平成 35年度	平成 36年度
医学部	医学科	90	90
	計	150	150
合計		1,145	1,145

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度
医学部	医学科	652	652	640	628	616
	計	912	912	900	888	876
合計		4,976	4,976	4,964	4,952	4,940

学部	学科又は課程	収容定員	
		平成 35年度	平成 36年度
医学部	医学科	604	592
	計	864	852
合計		4,928	4,916

## 変更事項を記載した書類

### 学則変更の事由

「地域の医師確保等の観点からの平成30年度医学部入学定員の増加について（平成29年7月10日文部科学省高等教育局長、厚生労働省医政局長通知）」に基づき、平成29年度で終了する医学部医学科入学定員の暫定措置（5名増）について、再度の定員増を行うため。

### 学則の変更点

医学部医学科における平成30年度から2年間の再度の定員増に関して、国立大学法人島根大学管理学則の附則において、①平成30年4月1日から施行すること、②平成30年度及び平成31年度の入学定員を再度の定員増を行った場合の102名に変更すること、③平成30年度及び平成31年度の再度の入学定員増を踏まえて平成30年度から平成36年度までの収容定員の推移を規定する。

国立大学法人島根大学管理学則の一部を改正する学則（案）による新旧規定対照表

改 正 規 定 (案)					現 行 規 定				
<b>【第42条関係】</b> (収容定員) 第42条 学部, 学科等の収容定員は, 次のとおりとする。					<b>【第42条関係】</b> (収容定員) 第42条 同左				
学部	学科又は課程	入学定員	第3年次 編入学 定員	収容定員					
法文学部	法経学科	80	10	320					
	社会文化学科	50		200					
	言語文化学科	55		220					
	計	185		10	760				
教育学部	学校教育課程	130		520					
	計	130		520					
人間科学部	人間科学科	80		320					
	計	80		320					
医学部	医学科	90	10	580					
	看護学科	60	10	260					
	計	150	20	840					
総合理工学部	物質科学科	130	12	520					
	地球資源環境学科	50		200					
	数理・情報システム学科	100		400					
	機械・電気電子工学科	80		320					
	建築・生産設計工学科	40		160					
	計	400		12	1,624				
生物資源科学部	生物科学科	30	20	120					
	生命工学科	40		160					
	農林生産学科	85		340					
	地域環境科学科	45		180					
	計	200		20	840				
合計		1,145	62	4,904					

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員及び収容定員は、第42条の規定にかかわらず、平成30年度から平成36年度については、次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度
医学部	医学科	102	102	90	90	90
	計	162	162	150	150	150
合計		1,157	1,157	1,145	1,145	1,145

学部	学科又は課程	入学定員	
		平成 35年度	平成 36年度
医学部	医学科	90	90
	計	150	150
合計		1,145	1,145

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度
医学部	医学科	652	652	640	628	616
	計	912	912	900	888	876
合計		4,976	4,976	4,964	4,952	4,940

学部	学科又は課程	収容定員	
		平成 35年度	平成 36年度
医学部	医学科	604	592
	計	864	852
合計		4,928	4,916

## 医学部の収容定員変更の趣旨を記載した書類

### 1. 収容定員変更の内容

島根大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「緊急医師確保対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増を、また平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009（骨太 2009）」に基づき平成 31 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増を、さらに平成 23 年度に「新成長戦略」に基づき平成 31 年度までの期限を付した 2 名の臨時定員増をそれぞれ実施した。この他平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2009（骨太 2009）」に基づき 5 名の恒久定員増を実施した。

平成 29 年度を期限とする 5 名の入学定員について、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、平成 30 年度の入学定員を再度の定員増を行わなかった場合の 97 名から 102 名に変更する。

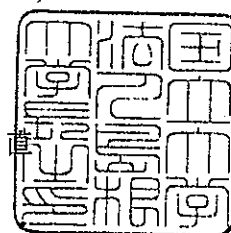
これにあわせて、収容定員についても平成 31 年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の 594 名から 604 名に変更する。

平成 30 年度  
医学部入学定員増員計画

島大企広情第 4 号  
平成 29 年 7 月 18 日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人島根大学長 服 部 泰 直



「地域の医師確保等の観点からの平成 30 年度医学部入学定員の増加について（平成 29 年 7 月 10 日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	島根大学医学部総務課長 嘉本 龍二
	TEL	(0853) 20-2011
	FAX	(0853) 20-2025
	E-mail	mga-somu@office.shimane-u.ac.jp

### 1. 現在（平成 29 年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
102名	0名	10名	652名

(収容定員計算用)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
(ア)入学定員	102	102	102	102	102	102	612
(イ)2年次編入学定員							
(ウ)3年次編入学定員	10	10	10	10	—	—	40

### 2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の平成 30 年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
97名	0名	10名	594名

(収容定員計算用)

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計
(ア)入学定員	97	97	90	90	90	90	554
(イ)2年次編入学定員							
(ウ)3年次編入学定員	10	10	10	10	—	—	40

### 3. 平成 30 年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
102名	0名	10名	604名

(収容定員計算用)

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計
(ア)入学定員	102	102	90	90	90	90	564
(イ)2年次編入学定員							
(ウ)3年次編入学定員	10	10	10	10	—	—	40

↓内訳

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増 5名

ア. 対象都道府県名及び増員数

大学が所在する都道府県	島根県	5名
-------------	-----	----

大学所在地以外の都道府県	(都道府県名)	0名
--------------	---------	----

(2) (1)のうち平成 29 年度で終了する医学部入学定員の暫定措置の延長に係る入学定員／編入学定員増 5名

ア. 対象都道府県名及び増員数

大学が所在する都道府県	島根県	5名
-------------	-----	----

大学所在地以外の都道府県	(都道府県名)	1名
--------------	---------	----



(3) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増     名  
ア. 連携する大学

(4) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例     名  
ア. 歯学部の削減人数 一名

(歯学部入学定員：29年度     名→30年度     名)

\* 編入学定員の削減の場合はその旨付記して下さい。

#### 4. 地域の医師確保のための入学定員増について

① 大学が講ずる措置	<p>通知2(1)記載の「大学が講ずる措置」に係るこれまでの取組について記入して下さい。</p>
	<p>地域社会における医療の確保及び福祉の増進を図ることが求められている中、島根県内の医師充足率は75.5%であり、地域における医師不足状況は続き、県西部地区の充足率は東部地区に比べ低く、医療の地域間格差は依然として大きな問題である。</p>
	<p>本学では、既存定員枠の中で、平成18年度から島根県内のへき地出身者を対象にした地域枠推薦を実施し（募集人員：平成18年度5名、平成19年度より10名に拡大）、また、平成19年度から学士入学（3年次編入学）に地域枠（募集人員：3名）を募集してきた。さらに、平成21年度から緊急医師確保枠（募集定員：5名）、平成23年度からは県内定着枠（募集定員：7名）を増員し、特別枠学生を受け入れてきた。</p>
	<p>入学後は、地域医療教育に力を入れ、特別枠卒業医師が徐々に、医師不足地域に勤務しだしているが、医師不足の解消には至っていない。</p>
	<p>通知2(1)記載の「大学が講ずる措置」に係る平成30年度以降の取組について具体的に記入して下さい。</p>
	<p>平成30年度以降の入試においては、引き続き、島根県と連携し、島根県の地域医療再生計画等による奨学金を活用し、緊急医師確保枠（募集定員：5名）を継続する予定である。本学の緊急医師確保枠の選抜については、従来から県内医療機関での実習と島根県の面接を課しており、引き続き、地域医療にモチベーションの高い学生を選抜していく。</p>
	<p>また、入学後の教育については、本学では他大学に先行して実績のある地域医療教育システムを更に充実させてきている。今後、さらなる充実に向けた検討を行っている。</p>

<p>② 地域医療を担う医師の養成に関する取組</p>	<p>①のほか、地域枠の学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からこれまでの取組について記入して下さい。</p> <p><b>【組織・体制の整備】</b></p> <p>地域医療の医師不足の状況を解消するため、島根県と連携し奨学金を活用した地域枠等の特別枠学生の確保を行い、地域医療の充実に向けた教育体制を整備し、早くから島根県の医師確保に取り組んできたところである。</p> <p>平成18年度に地域枠推薦入試制度を導入するとともに、平成19年度には学士入学（3年次編入学）にも地域枠制度を取り入れ、さらに平成21年度に緊急医師確保枠制度、平成23年度には県内定着枠を増員し、特別枠による入学者を受け入れてきた。</p> <p>そして、平成19年度には、地域医療教育学講座を設置し、その後平成22年度に地域医療支援学講座（島根県寄附講座）、平成24年度に総合医療学講座（大田市寄附講座）、さらに平成25年度からは地域医療政策学講座（未来医療研究人材養成拠点形成事業）を設置し、地域医療教育体制を充実してきた。さらに平成24年度より本学と島根県が中心となり、一般社団法人「しまね地域医療支援センター」を学内に設置し、大学の地域医療教育部門、卒後臨床研修センター、病院医学教育センターなどと連携して、卒後の教育・研修体制の充実を図ってきた。</p> <p><b>【カリキュラムの整備】</b></p> <p>カリキュラムにおいては、地域医療への関心・動機付けを高めるために、全学年で地域医療を体験することのできる一貫システムを取り入れている。1年次には、地域医療学の講義に加え、早期体験実習を行い、3年次には環境保健医学の講義、実習を行うとともに、選択による地域医療関係講座への配属により、低学年でも地域医療に触れる機会を増やしてきている。さらに4年次にはチュートリアル教育により1週間のプライマリケアを学び、5年次には、必修で1週間の学内での臨床実習（地域医療・総合医療）、2週間の学外の地域医療機関で臨床実習を、6年次では、選択で4週間以上の学外の地域医療機関での臨床実習を行っている。</p> <p>そして、通年で、夏季・春季に休暇を利用した地域医療実習（地域医療実習Ⅰ）、学生自らが企画するフレキシブル実習（地域医療実習Ⅱ）、自治体や地域医療機関が実施する地域医療実習への参画、さらに地域で活躍する医師などを講師とした地域医療セミナー、若手医師に自分のキャリアについて語ってもらうランチョンセミナーを開催し、特別枠学生を含む多くの学生が参加している。</p> <p><b>【地域との連携】</b></p> <p>大学と島根県が中心となり、県内の医療機関、自治体等と連携し、平</p>
-----------------------------	--

	<p>成 24 年度に一般社団法人「しまね地域医療支援センター」を学内に設置した。このセンターを中心にして、特別卒の卒業生を含む若手医師の育成・定着を目的に、①個別面談等によるキャリア支援、②医師の所属機関の長との面談、③臨床研修指導医の養成、④臨床研修病院連絡会議、⑤初期・後期研修に向けてのガイダンス、⑥若手医師ステップアップ研修等様々な取組を行っている。</p> <p>また、大学の教員と臨床教授制度を活用した地域医療機関における医師（教員）との連携を密にするため、合同FDの開催等、県と連携して各種講演会を開催し、地域と一体となって地域医療の現状と問題点についての共通認識を深めている。</p> <p>医学部医学科を目指す高校生に対しては、セミナーを夏休みの期間を利用して島根県と共同で開催し、参加者からは好評を得ている。</p> <p>さらに、地域の現場の意見も取り入れながら、適正な医師の配置等について検討するために大学附属病院に外部委員を入れた「医師派遣検討委員会」を設置するとともに、島根県内の関連病院とで組織する「島根大学医学部附属病院関連病院長会議」を定期的で開催することで意思の疎通を図り、問題点の解決に努めている。</p> <p>さらに大学院医学系研究科修士課程に、平成21年度「地域医療支援コーディネータ養成コース」、平成25年度「地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点)」を、また、同研究科博士課程に「地域医療・地域包括ケア指導者コース」を設置して、指導者の養成にも取り組んでいる。</p>
	<p>上記の観点から平成30年度以降新たに行おうとする（又は拡充しようとする）取組について記入して下さい。</p> <p>卒前教育については、一貫した地域医療教育システムを構築し、その内容も充実してきている。また、低学年の地域医療学、高学年の地域医療実習の再編充実など、ここ数年で取り組みだしたのものもあるため、これらの取り組みをさらに充実させていきたい。</p> <p>そのうえで、今後医学教育分野別評価受審に向けてのカリキュラムの改編の中で、地域医療教育をより、体系的に構築し、充実したものにしていきたいと考えている。</p>
<p>③ 都道府県等との連携</p>	<p>通知2(2)記載の「都道府県が講ずる措置」について、奨学金の設定主体及び支給額（月額及び卒業までの総支給額）、返還免除の条件、支給対象及び在学中の学生に対する都道府県の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等について具体的に記入して下さい。</p> <p>また、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。</p>

	<p>○奨学金設定主体 島根県</p> <p>○総支給額 1名あたり 10,696,800円 (入学金相当額 282,000円、修学費(月額) 100,000円、 授業料相当額(年額) 535,800円)</p> <p>○返還免除の条件 卒業後12年の間に、島根県内の医療機関で初期臨床研修を行い、その期間も含め島根県内の医療機関で9年間(うち4年間は特定地域)勤務した場合。</p> <p>○支給対象 今回の増員計画による入学者全員</p> <p>○在学中の学生に対する都道府県の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等について 在学に対しては、島根県の寄附講座である地域医療支援学講座が、県と連携を密にとりながら、学生への個別面談、学生と県、地域医療機関、市町村との意見交換を定期的に行い、必要に応じて、県と奨学金受給者との個別面談を実施している。 また、卒業後は、大学(地域医療支援学講座等)と「しまね地域医療支援センター」が連携を図りながら個別面談やキャリアプランの作成支援を行い、更には、必要に応じて、県を含めた個別相談や意見交換を実施している。</p> <p>○地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画に位置づけることを約束する文書の添付 別紙「地域の医師確保等の観点からの平成30年度医学部入学定員の増加について(島根県知事通知)」参照</p>
<p>④都道府県が貸与する奨学金を貸与する者の選抜方法</p>	<p>上記の都道府県が貸与する奨学金について、<u>どのような方法で対象学生を選抜するか、大学と都道府県との連携の在り方も含め、現時点の検討状況を具体的に記入して下さい</u>。なお、複数の方法により選抜を行う場合は、そのすべての方法について、方法ごとの対象人数とあわせて記入して下さい。</p> <p><b>【選抜方法】</b></p> <p>緊急医師確保対策枠推薦入試入学者については、全員に無条件で奨学金を貸与している。併せて、9年間指定医療機関で従事することを義務づけている。島根県とは、今年度から奨学金の額を増額するなど、既に協議を終えている。また、今年度も入学手続時に合格者全員を集め、奨学金について島根県から説明をしていただくなど、島根県の協力の下、この入試を継続する。</p>

	<p>平成22年度以降に同様の枠組みで増員した人数についても、都道府県が貸与する奨学金の対象学生の選抜方法を記入して下さい。なお、複数の方法により選抜を行う場合は、そのすべての方法について、方法ごとの対象人数とあわせて記入して下さい。</p> <p>導入当初から現在まで定員増はしておらず、奨学金の貸与基準についても変更していない。</p>
<p>⑤その他</p>	<p>その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組について自由に記入して下さい。</p> <p>とくに、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、記入して下さい。</p> <p><b>1. 地域枠入学者確保対策（中高生へのアプローチ）</b></p> <p>医学部への興味を引き出すため、医学部長主導による高校教員との懇談会、出張講義、医療体験学習受入など双方の取組を更に進める。</p> <p>また、市町村教育委員会と協力して、各地域の中学生を対象とした出張講義、体験学習事業等を拡充したい。</p> <p>さらに、自治体自らが人材発掘に向けた自助努力を要請するとともに、その実施をサポートする。</p> <p>そして、引き続き、大学が島根県及び市町村と連携して、県内の高校に対してPRを行い、地域枠についての説明を行い、受験生の確保に取り組んでいきたい。</p> <p><b>2. 奨学金受給者確保対策</b></p> <p>上述の様々な取り組みに合わせて、奨学金についてPRを行い、また入学後も様々な機会を活用して、PRを行い、奨学金受給者を確保していく。</p>

「地域医療」にかかる授業

1年次	科目名	早期体験実習
	時間数等	1年前期 1単位
	授業内容	入学後の早期に、本学医学部附属病院における医療現場を体験することにより、医療がどのように行われているかについて理解を深めるとともに、患者・医師関係や医療者の役割、チーム医療の重要性などを学び、医師を目指すものとして必要な医の倫理・プロフェッショナリズムやコミュニケーション能力を身につける。また、医療現場で見いだされた疑問や問題点について、自らが能動的に学習し、解決するための手段について学ぶ。
	科目名	地域医療学
	時間数等	1年後期 2単位
	授業内容	島根県における地域医療の現状と課題を理解するとともに、グローバルな視点で地域医療を捉え、地域住民の健康を守るためにどのような方法が可能であり、必要かについて自ら考えるための基礎力を養う。
	科目名	長寿社会の健康なくらし
	時間数等	1年後期 2単位
	授業内容	島根県が直面している長寿社会において、健康と暮らしの関わりを保健医療的な知見から学習する。高齢者を取り巻く健康や医療的な特徴を学び、高齢者の健康と暮らしの関連が理解できることを目標とする。
3年次	科目名	環境保健医学
	時間数等	3年後期 80時間
	授業内容	地域における疾病予防と健康増進を目指した地域保健・医療活動ができるようになるために、社会における健康課題とその成因・背景を、疫学を基礎として理解する。また、ライフサイクルに沿った健康課題に対して、根拠に基づく予防対策を身につける。保健医療政策により社会における疾病予防を理解する。公衆衛生学の理解により、社会や生活と医学・医療の橋渡しができることを目標とする。 基礎医学及び臨床医学で臓器別、機能別に学習してきた健康問題を、一人の人間が様々な生活環境とライフスタイルの中で経験する健康問題として総合的にみる視点を習得する。その視点のもとに、臨床現場でのプライマリヘルスケア実践に必要な予防医学の考え方や方法論を学習する。
	科目名	医学チュートリアル 入門コース
	時間数等	3年後期 41時間
	授業内容	臨床医学の基本として、よくある症候で臨床推論を行っていく思考プロセスを身につけること、咳嗽の患者さんに対してのアプローチ方法が説明できることを目標とする。
3年次～4年次	科目名	医学チュートリアル 環境保健医学実習コース
	時間数等	3年後期～4年前期 26時間
	授業内容	地域において医学・医療に関わる環境と健康について理解し、地域における保健、医療、福祉と介護の制度の内容と運営を理解する。また、出雲市内の一般家庭、要介護者、高齢者、障がい者を抱えるご家庭を対象に、定期的に家庭訪問を行い、家族の健康管理の支援や社会資源の活用などを考える。

5年次～ 6年次	科目名	臨床実習Ⅰ・Ⅱ（地域医療・総合医学，地域医療病院実習）
	時間数等	地域医療・総合医学…5年次 1週間 地域医療実習…5年次 2週間， 6年次 4週間以上
	授業内容	近接性，包括性，継続性，協調性，責任性を特色とする地域医療の臨床実習を通じて，大学病院では体験できない様々な医療の側面を学習し，医療全体を見渡すことのできる広い視点を養い，医療の本質に対する理解を深めると共に，地域医療に対する理解・動機付けの向上を図る。 5年次は，県内28のへき地医療機関における実習を必修で2週間行い，プライマリケアの基本である病院，診療所外来における診療の実際および地域医療連携等を学ぶ。また，在宅医療について学ぶ。6年次は選択で，希望に応じて関連教育病院，市民病院を含む県内41医療機関で実習を行う。
1年次～ 6年次	科目名	地域医療体験実習Ⅰ
	時間数等	1単位
	授業内容	医学生のearly exposureの一環として，実施する地域医療実習（夏季，春季）に参加し，地域医療拠点病院・へき地診療所等の活動や地域との連携を実地で体験・学習することにより，地域医療や公衆衛生業務に対する理解を深める。
	科目名	地域医療体験実習Ⅱ
	時間数等	1単位
授業内容	医学生のearly exposureの一環として，夏季，春季等の休暇中に，学生自らが地域医療実習を企画して，地域医療拠点病院・へき地診療所等の活動や地域との連携を実地で体験・学習することにより，地域医療や公衆衛生業務に対する理解を深める。	

地域医療に関する学部教育のカリキュラム概要

*1	*2	*3	*4	【学年】	【カリキュラム】	【科目名・場所・期間】	【教育内容】
休暇等を利用した地域医療実習Ⅰ・Ⅱ	地域医療関連講座教員による指導	地域医療セミナー・ランチョンセミナー	地域医療機関及び自治体との意見交換	6年	臨床 クラークシップ	臨床実習（地域医療実習） （4週以上）	近接性、包括性、継続性、協調性、責任性を特色とする地域医療の臨床実習を通じて、大学病院では体験できない様々な医療の側面を学習し、医療全体を見渡すことのできる広い視点を養い、医療の本質に対する理解を深めると共に、地域医療に対する理解・動機付けの向上を図る。 5年次は、県内28のへき地医療機関における実習を必修で2週間行い、プライマリケアの基本である病院、診療所外来における診療の実際および地域医療連携等を学ぶ。また、在宅医療について学ぶ。6年次は選択で、希望に応じて関連教育病院、市民病院を含む県内41医療機関で実習を行う。
				5年		臨床実習（地域医療実習） （2週間） 臨床実習（地域医療・総合医療） （1週間）	
				4年	PBL チュートリアル	環境保健医学実習 26時間  環境保健医学 80時間	
				3年			社会医学
				2年	臨床基礎	早期体験実習 1単位 地域医療学 2単位	医師として期待される社会的な役割、責任を理解し、将来への動機付けを行う。
				1年	基礎医学		
				1年	教養基礎		

- \* 1) 1～6年次対象に、島根県と連携し、県内僻地医療機関における「夏季・春季地域医療実習」「フレキシブル地域医療実習」を実施し、それぞれ「地域医療体験実習Ⅰ・Ⅱ」として単位認定している。
- \* 2) 地域医療教育学講座及び地域医療支援学講座等の教員で構成する指導教員が、6年間継続した指導を行い、地域医療に対する動機付けの向上・維持に努める。
- \* 3) 「地域医療セミナー」「ランチョンセミナー」をそれぞれ、ほぼ毎月開催している。
- \* 4) 各市町村単位で、年1回以上、地域医療機関、自治体との意見交換会を実施している。



医 第 4 5 7 号  
平成29年7月14日

国立大学法人 島根大学医学部長 様

島根県知事 溝口 善兵衛



地域の医師確保等の観点からの平成30年度医学部入学定員の増加  
について

標題入学定員の増加については、島根県保健医療計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する島根県の計画に、貴大学の医学部定員増に係る奨学金として下記のとおり設定し位置づけることを確約いたします。

記

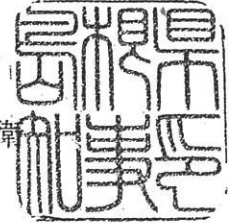
1. 事業期間 平成30年度～平成31年度
2. 貸与人数 5名/年
3. 貸与額 修学費(月額)100,000円、授業料相当額(年額)535,800円、  
入学金相当額282,000円  
(1人あたりの総貸与額:10,696,800円)
4. 貸与期間 貸与開始年度から大学の医学課程修了年度まで  
(ただし、正規の修業年限を超えることはできない)



医 第 4 5 7 号  
平成 2 9 年 7 月 1 4 日

厚生労働省医政局長 様

島根県知事 溝 口 善 兵 衛



地域の医師確保等の観点からの平成 30 年度医学部入学定員の増加  
について

標題入学定員の増加については、島根県保健医療計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第 64 号）第 4 条に規定する島根県の計画に、島根大学の医学部定員増に係る奨学金として下記のとおり設定し位置づけることを確約いたします。

記

1. 事業期間 平成 3 0 年度～平成 3 1 年度
2. 貸与人数 島根大学医学部 5 名／年
3. 貸与額 修学費（月額）100,000 円、授業料相当額（年額）535,800 円、  
入学金相当額 282,000 円  
（1 人あたりの総貸与額：10,696,800 円）
4. 貸与期間 貸与開始年度から大学の医学課程修了年度まで  
（ただし、正規の修業年限を超えることはできない）

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等				
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	保有 学位等	現 職 (就任年月)
—	学長	ハツリ ヤスナオ 服部 泰直 ＜平成27年4月＞	理学博士	島根大学 学長 ＜平成27.4～30.3＞

（注） 高等専門学校にあつては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
1	専	教授	オホニ ヒロキ 大谷 浩 <平成30年4月>	博士(医学)	健康科学概論※ 医学概論Ⅰ※ 健康科学実習※ 解剖学※ 講座等配属	1後 1前 1後 2通 3後	1.6 0.1 1.0 (160) (64)	1 1 1 2 1	島根大学・医 学部 教授 (昭58.4)	5日
2	専	教授	ムラサキ オサム 紫藤 治 <平成30年4月>	博士(医学)	医科基礎自然科学※ 生理学Ⅰ※ 生理学Ⅱ※ 生理学Ⅱ※ 講座等配属	1前 2通 2後 3前 3後	0.1 (60) (6) (38) (128)	1 2 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平11.10)	5日
3	専	教授	ツチヤ ミカ 土屋 美加子 <平成30年4月>	博士(医学)	腫瘍生物学※ 生化学実習※ 生化学※ 講座等配属	2後 2後 3前 3後	0.1 (36) (84) (128)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭61.4)	5日
4	専	教授	ウラノ タケシ 浦野 健 <平成30年4月>	博士(医学)	基礎分子生物学※ 腫瘍生物学※ 生化学実習※ 生化学実習※ 講座等配属	1後 2後 2後 3前 3後	1.3 0.4 (34) (38) (128)	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平19.6)	5日
5	専	教授	マツザキ(イコ) ムシ 松崎(伊谷) 有未 <平成30年4月>	博士(医学)	基礎生物物理※ 医科基礎生物学※ 医科基礎自然科学※ 自然科学実習(生物学) 腫瘍生物学※ 生体物質科学※ 生理学Ⅰ※ 医科遺伝学※ 講座等配属 血液※	1前 1前 1前 1通 2後 2後 2通 2前 3後 4前	0.2 1.6 0.2 2.0 0.2 2.0 (4) (6) (128) (1)	1 1 1 2 1 1 2 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平26.4)	5日
6	専	教授	ワカ コウイチロウ 和田 孝一郎 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属	3後	(128)	1	島根大学・医 学部 教授 (平26.10)	5日
7	専	教授	ナヒカ トオル 並河 徹 <平成30年4月>	博士(医学)	基礎生物物理※ 医学概論Ⅰ※ 医学概論Ⅱ※ 腫瘍生物学※ 医科遺伝学※ 病理学※ 講座等配属 病理※	1前 1前 1後 2後 2前 3後 3後 3前-4前	0.1 0.1 0.1 0.1 (4) (68) (128) (92)	1 1 1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭59.12)	5日
8	専	教授	マルヤマ リルク 丸山 理留敬 <平成30年4月>	博士(医学)	病理学※ 講座等配属 病理※	3後 3後 3前-4前	(68) (128) (92)	1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平4.4)	5日
9	専	教授	ヨシヤマ ヒロリ 吉山 裕規 <平成30年4月>	博士(医学)	微生物学※ 講座等配属	3通 3後	(40) (128)	2 1	島根大学・医 学部 教授 (平25.12)	5日
10	専	教授	ハラダ マモル 原田 守 <平成30年4月>	博士(医学)	免疫学※ 講座等配属 免疫※ 腫瘍学※	2後 3後 4前 4後	(82) (128) (1) (1)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平18.9)	5日
11	専	教授	タケタ ハルオ 竹下 治男 <平成30年4月>	博士(医学)	法医学※ 医事法制※ 講座等配属	3後 3後 3後	(28) (10) (128)	1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平15.9)	5日
12	専	教授	カンダ ヒデユキ 神田 秀幸 <平成30年4月>	博士(医学)	健康科学概論※ 環境保健医学Ⅰ※ 環境保健医学Ⅱ※ 講座等配属 入門※ 環境保健医学※	1後 3後 3後 3後 3後 3後-4前	0.2 (30) (18) (128) (2) (26)	1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平26.8)	5日

教 員 の 氏 名 等										
（医学部医学科）										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
13	専	教授	ツト シユウカ 津本 周作 <平成30年4月>	博士(工学)	情報科学概論(医学科)※ 情報科学演習(医学科)※ 情報学・統計学演習※ 講座等配属 医療情報学※	1前 1前 1後 3後 4後	1.7 0.4 0.4 (64) 6	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平11.5)	5日
14	専	教授	イワ ジュン 岩田 淳 <平成30年4月>	Master of Arts (English Language Teaching)(豪州)	基礎医学英語Ⅰ 基礎医学英語Ⅱ 上級TOEICセミナーⅠ 上級TOEICセミナーⅡ 海外研修A 医学英語Ⅱ 英語論文読解演習※ 講座等配属	1前 1後 1～6 1～6 主に1～ 2 2後 3前 3後	1.0 1.0 (20) (20) (40) 1.0 1.0 (64)	1 1 1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平20.4)	5日
15	専	教授	スキモト ツツク 杉本 利嗣 <平成30年4月>	医学博士	生理学Ⅰ※ 講座等配属 内分泌代謝・生殖※	2通 3後 3後	(6) (128) (43)	2 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平16.8)	5日
16	専	教授	キノタ ヨシカズ 木下 芳一 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 消化器※ 臨床実習	3後 4前 5-6通	(128) (53) (384)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平9.9)	5日
17	専	教授	ヤマグチ シユウヘイ 山口 修平 <平成30年4月>	博士(医学)	医学概論Ⅰ※ 神経・臨床心理※ 講座等配属 脳・神経※	1前 3後 3後 4後	1.2 0.3 (64) (45)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭55.6)	5日
18	専	教授	タナベ カズアキ 田邊 一明 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 循環器※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(64) (18) (183)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平20.5)	5日
19	専	教授	イソベ タケシ 磯部 威 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 呼吸器※ がん化学療法・放射線治療※ 感染症※ アレルギー※ 腫瘍学※	3後 3後 3後 4前 4前 4後	(128) (22) (19) (24) (2) (20)	1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平16.3)	5日
20	専	教授	モリタ エイジ 森田 栄伸 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 皮膚※ アレルギー※	3後 4前 4前	(128) (22) (27)	1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平14.1)	5日
21	専	教授	タケニ(ヤノ) タケシ 竹谷(矢野) 健 <平成30年4月>	博士(医学)	血液※ 免疫※ 成長・発達※ 漢方医学※ 臨床実習	4前 4前 4後 4後 5-6通	(2) (2) (72) (1) (4)	1 1 1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平14.10)	5日
22	専	教授	オダ テイジ 織田 禎二 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 循環器※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(128) (16) (328)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平18.10)	5日
23	専	教授	タニマ ヨシツグ 田島 義証 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 消化器※ 腫瘍学※	3後 4前 4後	(128) (6) (1)	1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平23.10)	5日
24	専	教授	ウチオ ユウジ 内尾 祐司 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 免疫※ 運動器※ 脳・神経※	3後 4前 4前 4後	(128) (1) (42) (2)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平2.4)	5日
25	専	教授	アキヤマ ヤスヒコ 秋山 恭彦 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 脳・神経※	3後 4後	(128) (32)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平9.9)	5日

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
26	専	教授	シゲ ヒロキ 椎名 浩昭 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 腎・尿路※	3後 4前	(64) (25)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭61.1)	5日
27	専	教授	ホグチ ジュン 堀口 淳 <平成30年4月>	博士(医学)	人間心理Ⅰ※ 人間心理Ⅱ※ 医学概論Ⅰ※ 講座等配属 精神・行動※	1前 1後 1前 3後 4後	1.2 2.0 0.1 (128) (42)	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平11.9)	5日
28	専	教授	キョウ サトル 京 哲 <平成30年4月>	博士(医学)	医学概論Ⅰ※ 講座等配属 周産期・女性生殖器※ 腫瘍学※	1前 3後 4前 4後	0.1 (128) (39) (1)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平26.4)	5日
29	専	教授	カウチ ヒデキ 川内 秀之 <平成30年4月>	博士(医学)	免疫※ アレルギー※ 感覚器※ 臨床実習	4前 4前 4前 5-6通	(1) (2) (20) (902)	1 1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平6.8)	5日
30	専	教授	オホヒラ アキヒロ 大平 明弘 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 感覚器※	3後 4前	(64) (31)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平10.8)	5日
31	専	教授	キタガキ ハジメ 北垣 一 <平成30年4月>	博士(医学)	放射線基礎医学※ 講座等配属 放射線画像医学※ 脳・神経※ 腫瘍学※ 臨床実習	3後 3後 3後 4後 4後 5-6通	(2) (64) (18) (1) (1) (223)	1 1 1 1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平11.9)	5日
32	専	教授	イノタ タイスカ 猪俣 泰典 <平成30年4月>	博士(医学)	放射線基礎医学※ 講座等配属 がん化学療法・放射線治療※ 腫瘍学※	3後 3後 3後 4後	(4) (64) (3) (1)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平24.4)	5日
33	専	教授	サイトリ ヨシヅ 齊藤 洋司 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 緩和ケア※ 麻酔・全身管理※ 救急・集中治療※	3後 4後 4後 4後	(64) (1) (22) (23)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭58.8)	5日
34	専	教授	カカヒ トシヒコ 中谷 俊彦 <平成30年4月>	博士(医学)	医学概論Ⅰ※ 緩和ケア※ 漢方医学※ 腫瘍学※	1前 4後 4後 4後	0.1 (36) (1) (1)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平29.4)	5日
35	専	教授	セキネ ジョウジ 関根 浄治 <平成30年4月>	博士(歯学)	講座等配属 感覚器※	3後 4前	(64) (33)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平19.6)	5日
36	専	教授	カガイ アツシ 長井 篤 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 入門※ 免疫※ 感染症※ 脳・神経※ 漢方医学※ 臨床実習	3後 3後 4前 4前 4後 4後 5-6通	(64) (3) (1) (1) (2) (1) (89)	1 1 1 1 1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平7.6)	5日
37	専	教授	ニシタ マサヨシ 仁科 雅良 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 救急・集中治療※ 臨床実習	3後 4後 5-6通	(128) (24) (152)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平25.6)	5日
38	専	教授	ワカハヒ ヒロキ 渡部 広明 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 Acute Care Surgery※ 臨床実習	3後 4後 5-6通	(128) (29) (242)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平28.1)	5日
39	専	教授	クマクラ シンイチ 熊倉 俊一 <平成30年4月>	博士(医学)	地域医療学※ 医学概論Ⅱ※ 早期体験実習 地域医療体験実習Ⅰ 血液※	1後 1後 1前 1~6通 4前	1.8 0.2 1.0 1.0 (1)	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平5.4)	5日

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する週当 たり平均日数
40	専	教授	タニグチ エイサ 谷口 栄作 <平成30年4月>	学士(医学)	地域医療学※ 医学概論Ⅱ※ 早期体験実習 地域医療実習Ⅱ 講座等配属	1後 1後 1前 1～6 3後	0.9 0.2 1.0 1.0 (64)	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平22.4)	5日
41	専	教授	ヒロ マサヒロ 廣瀬 昌博 <平成30年4月>	博士(医学)	医学概論Ⅰ※ 講座等配属	1前 3後	0.1 (64)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平26.3)	5日
42	専	教授	イハシ ユカ 石橋 豊 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 入門※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(64) (28) (241)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平23.10)	5日
43	専	教授	マニ シウキ 馬庭 壯吉 <平成30年4月>	博士(医学)	呼吸器※ 免疫※	3後 4前	(1) (1)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平3.4)	5日
44	専	准教授	ヨコ シゲフミ 横田 茂文 <平成30年4月>	博士(医学)	解剖学※ 生化学実習※ 講座等配属	2通 2後 3後	(178) (36) (128)	2 1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平9.9)	5日
45	専	准教授	イト シンイチ 伊藤 眞一 <平成30年4月>	博士(理学)	生理学Ⅱ※ 生理学Ⅱ※ 講座等配属	2後 3前 3後	(6) (54) (128)	1 1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平15.1)	5日
46	専	准教授	オノ エイジ 尾林 栄治 <平成30年4月>	博士(工学)	基礎分子生物学※ 生化学実習※	1後 2後	0.1 (36)	1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平23.5)	5日
47	専	准教授	タケノ ケイゾウ 竹永 啓三 <平成30年4月>	博士(理学)	医科基礎生物学※ 基礎分子生物学※ 自然科学実習(生物学) 腫瘍生物学※ 医科遺伝学※	1前 1後 1通 2後 2前	0.4 0.5 2.0 1.1 (4)	1 1 2 1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平20.4)	5日
48	専	准教授	フジイ マサシ 藤井 政俊 <平成30年4月>	博士(理学)	基礎生物物理※ 医科基礎自然科学※ 医科応用自然科学※ 自然科学実習(物理学・化学) 講座等配属	1前 1前 1後 1通 3後	1.7 1.6 2.0 2.0 (128)	1 1 1 2 1	島根大学・医 学部 准教授 (平19.4)	5日
49	専	准教授	オノト カズキ 岡本 貴行 <平成30年4月>	博士(医学)	薬理学※	3通	(24)	2	島根大学・医 学部 准教授 (平28.4)	5日
50	専	准教授	イヅミ ヒロシ 飯笹 久 <平成30年4月>	博士(薬学)	微生物学※	3通	(38)	2	島根大学・医 学部 准教授 (平26.4)	5日
51	専	准教授	カズ ナオキ 嘉数 直樹 <平成30年4月>	博士(医学)	健康科学概論※ 環境保健医学Ⅱ※	1後 3後	0.1 (8)	1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平18.4)	5日
52	専	准教授	ヒラノ ショウジ 平野 章二 <平成30年4月>	博士(工学)	情報科学概論(医学科)※ 情報科学演習(医学科)※ 情報学・統計学演習※ 医療情報学※	1前 1前 1後 4後	0.2 0.6 0.6 2	1 1 1 2	島根大学・医 学部 准教授 (平13.4)	5日
53	専	准教授	ヤマウチ ミカ 山内 美香 <平成30年4月>	博士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(3) (94)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平16.8)	5日
54	専	准教授	イシハラ シュンジ 石原 俊治 <平成30年4月>	博士(医学)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(3) (540)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平6.8)	5日
55	専	准教授	ムラカミ(オカト) ヨウコ 村川(岡本) 洋子 <平成30年4月>	博士(医学)	免疫※	4前	(46)	1	島根大学・医 学部 准教授 (平6.10)	5日

教 員 の 氏 名 等										
（医学部医学科）										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
56	専	准教授	カネコ サカ 金子 栄 <平成30年4月>	博士（医学）	アレルギー※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (10)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平21.4)	5日
57	専	准教授	キモト コウジ 岸本 晃司 <平成30年4月>	博士（医学）	呼吸器※ がん化学療法・放射線治療※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(1) (1) (753)	1 1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平19.10)	5日
58	専	准教授	ヒラハラ リユキ 平原 典幸 <平成30年4月>	博士（医学）	消化器※	4前	(5)	1	島根大学・医 学部 准教授 (平18.2)	5日
59	専	准教授	カガイ ヒデマサ 永井 秀政 <平成30年4月>	博士（医学）	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(9) (183)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平7.4)	5日
60	専	准教授	ヤマト ヒロアキ 安本 博晃 <平成30年4月>	博士（医学）	腎・尿路※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (54)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平21.4)	5日
61	専	准教授	ミヤカ ツヨシ 宮岡 剛 <平成30年4月>	博士（医学）	人間心理Ⅰ※ 精神・行動※ 臨床実習	1前 4後 5-6通	0.1 (3) (25)	1 1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平8.4)	5日
62	専	准教授	カヤマ ケンタロウ 中山 健太郎 <平成30年4月>	博士（医学）	周産期・女性生殖器※	4前	(5)	1	島根大学・医 学部 准教授 (平14.4)	5日
63	専	准教授	アオイ リアキ 青井 典明 <平成30年4月>	博士（医学）	アレルギー※ 感覚器※ 臨床実習	4前 4前 5-6通	(2) (6) (1222)	1 1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平19.2)	5日
64	専	准教授	コダマ タツオ 兒玉 達夫 <平成30年4月>	博士（医学）	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(3) (7)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平6.10)	5日
65	専	准教授	イマチ リウカ 今町 憲貴 <平成30年4月>	博士（医学）	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (5)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平12.4)	5日
66	専	准教授	ヤノ ショウゾウ 矢野 彰三 <平成30年4月>	博士（医学）	臨床実習	5-6通	(116)	4	島根大学・医 学部 准教授 (平17.4)	5日
67	専	准教授	タケノ ヨシカズ 瀧波 慶和 <平成30年4月>	博士（医学）	救急・集中治療※ 臨床実習	4後 5-6通	(4) (36)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平27.10)	5日
68	専	准教授	サノ チアキ 佐野 千晶 <平成30年4月>	博士（医学）	感染症※	4前	(1)	1	島根大学・医 学部 准教授 (平28.3)	5日
69	専	講師	ハラ ノブマサ 原 伸正 <平成30年4月>	博士（医学）	腫瘍生物学※	2後	0.2	1	島根大学・医 学部 講師 (昭55.5)	5日
70	専	講師	テロイヤン ジョン アーサー Telloyan John Arthur <平成30年4月>	M. A. Sports Administration (米 国)	英語ⅡA（医学科） 英語ⅡB（医学科） 海外留学セミナー アカデミックイングリッシュA 実用英語演習Ⅰ 実用英語演習Ⅱ	1前 1後 1～6後 1～6前 2前 2後	1.0 1.0 (20) (20) 1.0 1.0	1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 講師 (平28.4)	5日
71	専	講師	カナイ(シモヤマ) リエ 金井(下山) 理恵 <平成30年4月>	博士（医学）	臨床実習	5-6通	(36)	4	島根大学・医 学部 講師 (平8.7)	5日
72	専	講師	ヤスタク ケンジ 安田 謙二 <平成30年4月>	博士（医学）	免疫※ 成長・発達※ 臨床実習	4前 4後 5-6通	(1) (1) (4)	1 1 4	島根大学・医 学部 講師 (平26.4)	5日
73	専	講師	クマハシ ノブユキ 熊橋 伸之 <平成30年4月>	博士（医学）	運動器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (8)	1 4	島根大学・医 学部 講師 (平19.4)	5日



教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
74	専	助教	マツキ ケンタロウ 松崎 健太郎 <平成30年4月>	博士(薬学)	医科基礎自然科学※	1前	0.1	1	島根大学・医学部 助教 (平19.4)	5日
75	専	助教	ハマ ノリユキ 濱 徳行 <平成30年4月>	博士(理学)	生理学Ⅱ※ 生理学Ⅱ※	2後 3前	(12) (44)	1 1	島根大学・医学部 助教 (平19.4)	5日
76	専	助教	カワイ ミチコ 河合 美菜子 <平成30年4月>	博士(生命科学)	生理学Ⅱ※ 生理学Ⅱ※	2後 3前	(2) (36)	1 1	島根大学・医学部 助教 (平25.4)	5日
77	専	助教	サカタ ケイゾウ 坂下 暁介 <平成30年4月>	博士(理学)	基礎分子生物学※	1後	0.1	1	島根大学・医学部 助教 (平19.9)	5日
78	専	助教	カトリ ヒロユキ 加藤 太陽 <平成30年4月>	博士(生命科学)	基礎分子生物学※	1後	0.1	1	島根大学・医学部 助教 (平21.4)	5日
79	専	助教	ヨシガワ リンタロウ 吉川 倫太郎 <平成30年4月>	博士(薬学)	自然科学実習(物理学・化学)	1通	2.0	2	島根大学・医学部 助教 (平28.3)	5日
80	専	助教	タナカ テツヤ 田中 徹也 <平成30年4月>	博士(薬学)	薬理学※	3通	(34)	2	島根大学・医学部 助教 (平13.11)	5日
81	専	助教	ウラタ ハルキ 臼田 春樹 <平成30年4月>	博士(薬学)	薬理学※	3通	(22)	2	島根大学・医学部 助教 (平27.4)	5日
82	専	助教	カネヒロ ヨウイチ 金廣 優一 <平成30年4月>	博士(工学)	微生物学※	3通	(34)	2	島根大学・医学部 助教 (平23.4)	5日
83	専	助教	イイダ ヨウイチ 飯田 雄一 <平成30年4月>	博士(再生医科学)	免疫学※	2後	(74)	1	島根大学・医学部 助教 (平28.2)	5日
84	専	助教	キムラ カオリ 木村 かおり <平成30年4月>	博士(医学)	法医学※	3後	(4)	1	島根大学・医学部 助教 (平21.11)	5日
85	専	助教	フクダ マリ 福田 茉莉 <平成30年4月>	博士(文化科学)	環境保健医学Ⅰ※	3後	(4)	1	島根大学・医学部 助教 (平28.4)	5日
86	専	助教	ツムラ ヒデアキ 津村 秀樹 <平成30年4月>	博士(人間科学)	環境保健医学Ⅱ※	3後	(6)	1	島根大学・医学部 助教 (平27.4)	5日
87	専	助教	セキ ミミ 關 真美 <平成30年4月>	博士(医療薬学)	情報学・統計学演習※	1後	0.4	1	島根大学・医学部 助教 (平24.11)	5日
88	専	助教	マーフィー リン MURPHY LYNNE <平成30年4月>	Bachelor of Arts in Applied Languages (with First Class Honours) (アイルランド)	アカデミックイングリッシュB 実用英語演習Ⅰ 実用英語演習Ⅱ	1～6後 2前 2後	(20) 1.0 1.0	1 1 1	島根大学・医学部 助教 (平29.10)	5日
89	専	助教	イケガリ フミヨシ 池尻 文良 <平成30年4月>	学士(医学)	血液※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医学部 助教 (平26.12)	5日
90	専	助教	ノツ マカズ 野津 雅和 <平成30年4月>	学士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(5) (48)	1 4	島根大学・医学部 助教 (平25.4)	5日
91	専	助教	タカヨシ ヒロユキ 高吉 宏幸 <平成30年4月>	学士(医学)	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (8)	1 4	島根大学・医学部 助教 (平28.4)	5日

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
92	専	助教	カハシ ツトム 高橋 勉 <平成30年4月>	学士(医学)	血液※ 感染症※	4前 4前	(1) (1)	1 1	島根大学・医 学部 助教 (平17.4)	5日
93	専	助教	イトウ シンペイ 伊藤 新平 <平成30年4月>	学士(医学)	循環器※ 臨床実習	3後 5-6通	(2) (65)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.4)	5日
94	専	助教	ハネダ ヤスヒロ 羽根田 泰宏 <平成30年4月>	博士(医学)	成長・発達※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.11)	5日
95	専	助教	シズミ コウジ 清水 弘治 <平成30年4月>	学士(医学)	循環器※ 臨床実習	3後 5-6通	(1) (445)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平21.4)	5日
96	専	助教	ヒヤクミ リョウジ 百留 亮治 <平成30年4月>	学士(医学)(※)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平20.11)	5日
97	専	助教	カイ キョウ 高井 清江 <平成30年4月>	学士(医学)(※)	臨床実習	5-6通	(22)	4	島根大学・医 学部 助教 (平25.4)	5日
98	専	助教	ヤマモト テツ 山本 徹 <平成30年4月>	学士(医学)(※)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(5) (7)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平19.10)	5日
99	専	助教	クワタ スガール 桑田 卓 <平成30年4月>	博士(医学)	運動器※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (11)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平20.4)	5日
100	専	助教	イマテ シンジ 今出 真司 <平成30年4月>	博士(医学)	運動器※	4前	(2)	1	島根大学・医 学部 助教 (平22.4)	5日
101	専	助教	ヨシカネ ツトム 吉金 努 <平成30年4月>	学士(医学)	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (118)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.10)	5日
102	専	助教	ハギハラ シンヤ 萩原 伸哉 <平成30年4月>	学士(医学)	脳・神経※	4後	(3)	1	島根大学・医 学部 助教 (平28.4)	5日
103	専	助教	スミラ マサヒロ 洲村 正裕 <平成30年4月>	学士(医学)(※)	腎・尿路※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (45)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平17.4)	5日
104	専	助教	ミウラ ショウコ 三浦 章子 <平成30年4月>	学士(医学)	人間心理 I ※ 精神・行動※ 臨床実習	1前 4後 5-6通	0.1 (2) (25)	1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.10)	5日
105	専	助教	カハバ ミチナル 長濱 道治 <平成30年4月>	学士(医学)	人間心理 I ※ 精神・行動※ 臨床実習	1前 4後 5-6通	0.1 (2) (25)	1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平21.7)	5日
106	専	助教	ホツタ エキエ 堀田 優希江 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (323)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.4)	5日
107	専	助教	シズミ カホ 清水 香奈子 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (231)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平22.4)	5日
108	専	助教	シヨウノ アツコ 庄野 敦子 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.8)	5日
109	専	助教	マツダ タシ 松田 高志 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.9)	5日
110	専	助教	ヨシノ アヤ 吉野 綾 <平成30年4月>	博士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (7)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.9)	5日

教 員 の 氏 名 等										
(医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
111	専	助教	キタニ アキヒ 木谷 昭彦 <平成30年4月>	博士(医学)	Acute Care Surgery※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (3)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.8)	5日
112	専	助教	キジマ ツネカ 木島 庸貴 <平成30年4月>	学士(医学)	入門※ 臨床実習	3後 5-6通	(4) (209)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平25.10)	5日
113	専	助教	モリタ ミ 守田 美和 <平成30年4月>	博士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(3) (41)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平21.4)	5日
114	専	助教	ノカ サユ 田中 小百合 <平成30年4月>	学士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(1) (33)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.5)	5日
115	専	助教	タマガリ ユウジ 玉川 祐司 <平成30年4月>	博士(医学)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (231)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.9)	5日
116	専	助教	シロ ツヨシ 三代 剛 <平成30年4月>	博士(医学)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (228)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平24.10)	5日
117	専	助教	ミヅ シンゴ 三瀧 真悟 <平成30年4月>	博士(医学)	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (10)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平24.4)	5日
118	専	助教	アベ サトシ 安部 哲史 <平成30年4月>	学士(医学)	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (10)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.4)	5日
119	専	助教	ワタナベ ノブヒデ 渡邊 伸英 <平成30年4月>	学士(医学)	生理学I※ 循環器※ 臨床実習	2通 3後 5-6通	(2) (2) (63)	2 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.10)	5日
120	専	助教	オウチ ケン 大内 武 <平成30年4月>	学士(医学)	循環器※ 臨床実習	3後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.4)	5日
121	専	助教	ハマガチ マグミ 濱口 愛 <平成30年4月>	学士(医学)	呼吸器※ がん化学療法・放射線治療※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(2) (1) (3)	1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.4)	5日
122	専	助教	ホッタ タカサ 堀田 尚誠 <平成30年4月>	学士(医学)	呼吸器※ がん化学療法・放射線治療※	3後 3後	(4) (1)	1 1	島根大学・医 学部 助教 (平29.4)	5日
123	専	助教	オウチ マサカ 太田 征孝 <平成30年4月>	学士(医学)	皮膚※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平25.4)	5日
124	専	助教	ヤマダ ケンジ 山田 健治 <平成30年4月>	学士(医学)	成長・発達※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (128)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.1)	5日
125	専	助教	コバヤシ ヒロリ 小林 弘典 <平成30年4月>	博士(医学)	成長・発達※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (29)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平18.4)	5日
126	専	助教	カネキ カズマ 金築 一摩 <平成30年4月>	学士(医学)	循環器※ 臨床実習	3後 5-6通	(2) (444)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.4)	5日
127	専	助教	アキ マイコ 城 麻衣子 <平成30年4月>	学士(医学)	臨床実習	5-6通	(205)	4	島根大学・医 学部 助教 (平27.4)	5日
128	専	助教	ハヤシ ヒコタ 林 彦多 <平成30年4月>	博士(医学)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(3) (9)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平25.6)	5日
129	専	助教	ヒヤクミ ミチ 百留 美樹 <平成30年4月>	博士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(2) (20)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.4)	5日

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する週当 たり平均日数
130	専	助教	ヤマガミ ノブオ 山上 信生 <平成30年4月>	博士(医学)	運動器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (8)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.4)	5日
131	専	助教	コノ ミチハヤ 河野 通快 <平成30年4月>	学士(医学)	運動器※ 脳・神経※ 臨床実習	4前 4後 5-6通	(3) (2) (1)	1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.4)	5日
132	専	助教	イハシ トモカ 石橋 朋佳 <平成30年4月>	学士(医学)	周産期・女性生殖器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (99)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.1)	5日
133	専	助教	イカ マコ 石川 雅子 <平成30年4月>	学士(医学)	周産期・女性生殖器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (99)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平20.6)	5日
134	専	助教	シズ ヤスヒコ 清水 保彦 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (1228)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平17.7)	5日
135	専	助教	フナキ カフミ 淵脇 貴史 <平成30年4月>	博士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(3) (1227)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平22.9)	5日
136	専	助教	スギハラ カズノブ 杉原 一暢 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.5)	5日
137	専	助教	コヤマ ヤスロウ 小山 泰良 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平12.1)	5日
138	専	助教	ナカムラ ノブミ 中村 恩 <平成30年4月>	博士(医学)	放射線基礎医学※ 放射線画像医学※ 消化器※ 臨床実習	3後 3後 4前 5-6通	(2) (1) (3) (270)	1 1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平18.6)	5日
139	専	助教	ヤマモト ノブコ 山本 伸子 <平成30年4月>	学士(医学)	放射線基礎医学※ 放射線画像医学※ 運動器※ 臨床実習	3後 3後 4前 5-6通	(2) (1) (1) (46)	1 1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.8)	5日
140	専	助教	ヤマモト ハナコ 山本 花子 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※	4後	(1)	1	島根大学・医 学部 助教 (平29.4)	5日
141	専	助教	モリ ヒデアキ 森 英明 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.11)	5日
142	専	助教	ヨコイ ノブヤ 横井 信哉 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.1)	5日
143	専	助手	ニシヤマ ヨウイチ 西山 祐一 <平成30年4月>	博士(保健学)	放射線基礎医学※ 臨床実習	3後 5-6通	(4) (54)	1 4	島根大学・医 学部 助手 (平27.4)	5日

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に就任するに際しては、所属する学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
1	専	教授	オホニ ヒロキ 大谷 浩 <平成30年4月>	博士(医学)	健康科学概論※ 医学概論Ⅰ※ 健康科学実習※ 解剖学※ 講座等配属	1後 1前 1後 2通 3後	1.6 0.1 1.0 (160) (64)	1 1 1 2 1	島根大学・医 学部 教授 (昭58.4)	5日
2	専	教授	ムラサキ オサム 紫藤 治 <平成30年4月>	博士(医学)	医科基礎自然科学※ 生理学Ⅰ※ 生理学Ⅱ※ 生理学Ⅱ※ 講座等配属	1前 2通 2後 3前 3後	0.1 (60) (6) (38) (128)	1 2 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平11.10)	5日
3	専	教授	ツチヤ ミカ 土屋 美加子 <平成30年4月>	博士(医学)	腫瘍生物学※ 生化学実習※ 生化学※ 講座等配属	2後 2後 3前 3後	0.1 (36) (84) (128)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭61.4)	5日
4	専	教授	ウラノ タケシ 浦野 健 <平成30年4月>	博士(医学)	基礎分子生物学※ 腫瘍生物学※ 生化学実習※ 生化学実習※ 講座等配属	1後 2後 2後 3前 3後	1.3 0.4 (34) (38) (128)	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平19.6)	5日
5	専	教授	マツザキ(イコ) ムシ 松崎(伊谷) 有未 <平成30年4月>	博士(医学)	基礎生物物理※ 医科基礎生物学※ 医科基礎自然科学※ 自然科学実習(生物学) 腫瘍生物学※ 生体物質科学※ 生理学Ⅰ※ 医科遺伝学※ 講座等配属 血液※	1前 1前 1前 1通 2後 2後 2通 2前 3後 4前	0.2 1.6 0.2 2.0 0.2 2.0 (4) (6) (128) (1)	1 1 1 2 1 1 2 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平26.4)	5日
6	専	教授	ワカ コウイチロウ 和田 孝一郎 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属	3後	(128)	1	島根大学・医 学部 教授 (平26.10)	5日
7	専	教授	ナヒカ トオル 並河 徹 <平成30年4月>	博士(医学)	基礎生物物理※ 医学概論Ⅰ※ 医学概論Ⅱ※ 腫瘍生物学※ 医科遺伝学※ 病理学※ 講座等配属 病理※	1前 1前 1後 2後 2前 3後 3後 3前-4前	0.1 0.1 0.1 0.1 (4) (68) (128) (92)	1 1 1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭59.12)	5日
8	専	教授	マルヤマ リルク 丸山 理留敬 <平成30年4月>	博士(医学)	病理学※ 講座等配属 病理※	3後 3後 3前-4前	(68) (128) (92)	1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平4.4)	5日
9	専	教授	ヨシヤマ ヒロリ 吉山 裕規 <平成30年4月>	博士(医学)	微生物学※ 講座等配属	3通 3後	(40) (128)	2 1	島根大学・医 学部 教授 (平25.12)	5日
10	専	教授	ハラダ マモル 原田 守 <平成30年4月>	博士(医学)	免疫学※ 講座等配属 免疫※ 腫瘍学※	2後 3後 4前 4後	(82) (128) (1) (1)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平18.9)	5日
11	専	教授	タケタ ハルオ 竹下 治男 <平成30年4月>	博士(医学)	法医学※ 医事法制※ 講座等配属	3後 3後 3後	(28) (10) (128)	1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平15.9)	5日
12	専	教授	カンダ ヒデユキ 神田 秀幸 <平成30年4月>	博士(医学)	健康科学概論※ 環境保健医学Ⅰ※ 環境保健医学Ⅱ※ 講座等配属 入門※ 環境保健医学※	1後 3後 3後 3後 3後 3後-4前	0.2 (30) (18) (128) (2) (26)	1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平26.8)	5日

教 員 の 氏 名 等										
（医学部医学科）										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
13	専	教授	ツト シユウカ 津本 周作 <平成30年4月>	博士（工学）	情報科学概論（医学科）※ 情報科学演習（医学科）※ 情報学・統計学演習※ 講座等配属 医療情報学※	1前 1前 1後 3後 4後	1.7 0.4 0.4 (64) 6	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平11.5)	5日
14	専	教授	イワ ジュン 岩田 淳 <平成30年4月>	Master of Arts (English Language Teaching)（豪州）	基礎医学英語Ⅰ 基礎医学英語Ⅱ 上級TOEICセミナーⅠ 上級TOEICセミナーⅡ 海外研修A 医学英語Ⅱ 英語論文読解演習※ 講座等配属	1前 1後 1～6 1～6 主に1～ 2 2後 3前 3後	1.0 1.0 (20) (20) (40) 1.0 1.0 (64)	1 1 1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平20.4)	5日
15	専	教授	スキモト ツツク 杉本 利嗣 <平成30年4月>	医学博士	生理学Ⅰ※ 講座等配属 内分泌代謝・生殖※	2通 3後 3後	(6) (128) (43)	2 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平16.8)	5日
16	専	教授	キノタ ヨシカズ 木下 芳一 <平成30年4月>	博士（医学）	講座等配属 消化器※ 臨床実習	3後 4前 5-6通	(128) (53) (384)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平9.9)	5日
17	専	教授	ヤマグチ シユウヘイ 山口 修平 <平成30年4月>	博士（医学）	医学概論Ⅰ※ 神経・臨床心理※ 講座等配属 脳・神経※	1前 3後 3後 4後	1.2 0.3 (64) (45)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭55.6)	5日
18	専	教授	タナベ カズアキ 田邊 一明 <平成30年4月>	博士（医学）	講座等配属 循環器※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(64) (18) (183)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平20.5)	5日
19	専	教授	イソベ タケシ 磯部 威 <平成30年4月>	博士（医学）	講座等配属 呼吸器※ がん化学療法・放射線治療※ 感染症※ アレルギー※ 腫瘍学※	3後 3後 3後 4前 4前 4後	(128) (22) (19) (24) (2) (20)	1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平16.3)	5日
20	専	教授	モリタ エイジ 森田 栄伸 <平成30年4月>	博士（医学）	講座等配属 皮膚※ アレルギー※	3後 4前 4前	(128) (22) (27)	1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平14.1)	5日
21	専	教授	タケニ(ヤノ) タケシ 竹谷(矢野) 健 <平成30年4月>	博士（医学）	血液※ 免疫※ 成長・発達※ 漢方医学※ 臨床実習	4前 4前 4後 4後 5-6通	(2) (2) (72) (1) (4)	1 1 1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平14.10)	5日
22	専	教授	オダ テイジ 織田 禎二 <平成30年4月>	博士（医学）	講座等配属 循環器※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(128) (16) (328)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平18.10)	5日
23	専	教授	タニマ ヨシツグ 田島 義証 <平成30年4月>	博士（医学）	講座等配属 消化器※ 腫瘍学※	3後 4前 4後	(128) (6) (1)	1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平23.10)	5日
24	専	教授	ウチオ ユウジ 内尾 祐司 <平成30年4月>	博士（医学）	講座等配属 免疫※ 運動器※ 脳・神経※	3後 4前 4前 4後	(128) (1) (42) (2)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平2.4)	5日
25	専	教授	アキヤマ ヤスヒコ 秋山 恭彦 <平成30年4月>	博士（医学）	講座等配属 脳・神経※	3後 4後	(128) (32)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平9.9)	5日

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
26	専	教授	シゲ ヒロキ 椎名 浩昭 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 腎・尿路※	3後 4前	(64) (25)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭61.1)	5日
27	専	教授	ホグチ ジュン 堀口 淳 <平成30年4月>	博士(医学)	人間心理Ⅰ※ 人間心理Ⅱ※ 医学概論Ⅰ※ 講座等配属 精神・行動※	1前 1後 1前 3後 4後	1.2 2.0 0.1 (128) (42)	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平11.9)	5日
28	専	教授	キョウ サトル 京 哲 <平成30年4月>	博士(医学)	医学概論Ⅰ※ 講座等配属 周産期・女性生殖器※ 腫瘍学※	1前 3後 4前 4後	0.1 (128) (39) (1)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平26.4)	5日
29	専	教授	カウチ ヒデキ 川内 秀之 <平成30年4月>	博士(医学)	免疫※ アレルギー※ 感覚器※ 臨床実習	4前 4前 4前 5-6通	(1) (2) (20) (902)	1 1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平6.8)	5日
30	専	教授	オホヒラ アキヒロ 大平 明弘 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 感覚器※	3後 4前	(64) (31)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平10.8)	5日
31	専	教授	キタガキ ハジメ 北垣 一 <平成30年4月>	博士(医学)	放射線基礎医学※ 講座等配属 放射線画像医学※ 脳・神経※ 腫瘍学※ 臨床実習	3後 3後 3後 4後 4後 5-6通	(2) (64) (18) (1) (1) (223)	1 1 1 1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平11.9)	5日
32	専	教授	イノタ タイスカ 猪俣 泰典 <平成30年4月>	博士(医学)	放射線基礎医学※ 講座等配属 がん化学療法・放射線治療※ 腫瘍学※	3後 3後 3後 4後	(4) (64) (3) (1)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平24.4)	5日
33	専	教授	サイトリ ヨシヅ 齊藤 洋司 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 緩和ケア※ 麻酔・全身管理※ 救急・集中治療※	3後 4後 4後 4後	(64) (1) (22) (23)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (昭58.8)	5日
34	専	教授	カカヒ トシヒコ 中谷 俊彦 <平成30年4月>	博士(医学)	医学概論Ⅰ※ 緩和ケア※ 漢方医学※ 腫瘍学※	1前 4後 4後 4後	0.1 (36) (1) (1)	1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平29.4)	5日
35	専	教授	セキネ ジョウジ 関根 浄治 <平成30年4月>	博士(歯学)	講座等配属 感覚器※	3後 4前	(64) (33)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平19.6)	5日
36	専	教授	カガイ アツシ 長井 篤 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 入門※ 免疫※ 感染症※ 脳・神経※ 漢方医学※ 臨床実習	3後 3後 4前 4前 4後 4後 5-6通	(64) (3) (1) (1) (2) (1) (89)	1 1 1 1 1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平7.6)	5日
37	専	教授	ニシタ マサヨシ 仁科 雅良 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 救急・集中治療※ 臨床実習	3後 4後 5-6通	(128) (24) (152)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平25.6)	5日
38	専	教授	ワカハタ ヒロキ 渡部 広明 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 Acute Care Surgery※ 臨床実習	3後 4後 5-6通	(128) (29) (242)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平28.1)	5日
39	専	教授	クマクラ シンイチ 熊倉 俊一 <平成30年4月>	博士(医学)	地域医療学※ 医学概論Ⅱ※ 早期体験実習 地域医療体験実習Ⅰ 血液※	1後 1後 1前 1~6通 4前	1.8 0.2 1.0 1.0 (1)	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平5.4)	5日

教 員 の 氏 名 等										
（医学部医学科）										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する週当 たり平均日数
40	専	教授	タニグチ エイサ 谷口 栄作 <平成30年4月>	学士(医学)	地域医療学※ 医学概論Ⅱ※ 早期体験実習 地域医療実習Ⅱ 講座等配属	1後 1後 1前 1～6 3後	0.9 0.2 1.0 1.0 (64)	1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 教授 (平22.4)	5日
41	専	教授	ヒロ マサヒロ 廣瀬 昌博 <平成30年4月>	博士(医学)	医学概論Ⅰ※ 講座等配属	1前 3後	0.1 (64)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平26.3)	5日
42	専	教授	イハシ ユカ 石橋 豊 <平成30年4月>	博士(医学)	講座等配属 入門※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(64) (28) (241)	1 1 4	島根大学・医 学部 教授 (平23.10)	5日
43	専	教授	マニ シウキ 馬庭 壯吉 <平成30年4月>	博士(医学)	呼吸器※ 免疫※	3後 4前	(1) (1)	1 1	島根大学・医 学部 教授 (平3.4)	5日
44	専	准教授	ヨコ シゲフミ 横田 茂文 <平成30年4月>	博士(医学)	解剖学※ 生化学実習※ 講座等配属	2通 2後 3後	(178) (36) (128)	2 1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平9.9)	5日
45	専	准教授	イト シンイチ 伊藤 眞一 <平成30年4月>	博士(理学)	生理学Ⅱ※ 生理学Ⅱ※ 講座等配属	2後 3前 3後	(6) (54) (128)	1 1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平15.1)	5日
46	専	准教授	オノ エイジ 尾林 栄治 <平成30年4月>	博士(工学)	基礎分子生物学※ 生化学実習※	1後 2後	0.1 (36)	1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平23.5)	5日
47	専	准教授	タケナガ ケイゾウ 竹永 啓三 <平成30年4月>	博士(理学)	医科基礎生物学※ 基礎分子生物学※ 自然科学実習(生物学) 腫瘍生物学※ 医科遺伝学※	1前 1後 1通 2後 2前	0.4 0.5 2.0 1.1 (4)	1 1 2 1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平20.4)	5日
48	専	准教授	フジイ マサシ 藤井 政俊 <平成30年4月>	博士(理学)	基礎生物物理※ 医科基礎自然科学※ 医科応用自然科学※ 自然科学実習(物理学・化学) 講座等配属	1前 1前 1後 1通 3後	1.7 1.6 2.0 2.0 (128)	1 1 1 2 1	島根大学・医 学部 准教授 (平19.4)	5日
49	専	准教授	オノト カズキ 岡本 貴行 <平成30年4月>	博士(医学)	薬理学※	3通	(24)	2	島根大学・医 学部 准教授 (平28.4)	5日
50	専	准教授	イヅミ ヒロシ 飯笹 久 <平成30年4月>	博士(薬学)	微生物学※	3通	(38)	2	島根大学・医 学部 准教授 (平26.4)	5日
51	専	准教授	カズ ナオキ 嘉数 直樹 <平成30年4月>	博士(医学)	健康科学概論※ 環境保健医学Ⅱ※	1後 3後	0.1 (8)	1 1	島根大学・医 学部 准教授 (平18.4)	5日
52	専	准教授	ヒラノ ショウジ 平野 章二 <平成30年4月>	博士(工学)	情報科学概論(医学科)※ 情報科学演習(医学科)※ 情報学・統計学演習※ 医療情報学※	1前 1前 1後 4後	0.2 0.6 0.6 2	1 1 1 2	島根大学・医 学部 准教授 (平13.4)	5日
53	専	准教授	ヤマウチ ミカ 山内 美香 <平成30年4月>	博士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(3) (94)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平16.8)	5日
54	専	准教授	イシハラ シュンジ 石原 俊治 <平成30年4月>	博士(医学)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(3) (540)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平6.8)	5日
55	専	准教授	ムラカミ(オカト) ヨウコ 村川(岡本) 洋子 <平成30年4月>	博士(医学)	免疫※	4前	(46)	1	島根大学・医 学部 准教授 (平6.10)	5日



教 員 の 氏 名 等										
(医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
56	専	准教授	カネコ サエ 金子 栄 <平成30年4月>	博士(医学)	アレルギー※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (10)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平21.4)	5日
57	専	准教授	キモト コウジ 岸本 晃司 <平成30年4月>	博士(医学)	呼吸器※ がん化学療法・放射線治療※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(1) (1) (753)	1 1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平19.10)	5日
58	専	准教授	ヒラハラ リユキ 平原 典幸 <平成30年4月>	博士(医学)	消化器※	4前	(5)	1	島根大学・医 学部 准教授 (平18.2)	5日
59	専	准教授	カガイ ヒデマサ 永井 秀政 <平成30年4月>	博士(医学)	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(9) (183)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平7.4)	5日
60	専	准教授	ヤマト ヒロアキ 安本 博晃 <平成30年4月>	博士(医学)	腎・尿路※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (54)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平21.4)	5日
61	専	准教授	ミヤカ ツヨシ 宮岡 剛 <平成30年4月>	博士(医学)	人間心理I※ 精神・行動※ 臨床実習	1前 4後 5-6通	0.1 (3) (25)	1 1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平8.4)	5日
62	専	准教授	カヤマ ケンタロウ 中山 健太郎 <平成30年4月>	博士(医学)	周産期・女性生殖器※	4前	(5)	1	島根大学・医 学部 准教授 (平14.4)	5日
63	専	准教授	アオイ リアキ 青井 典明 <平成30年4月>	博士(医学)	アレルギー※ 感覚器※ 臨床実習	4前 4前 5-6通	(2) (6) (1222)	1 1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平19.2)	5日
64	専	准教授	コダマ タツオ 兒玉 達夫 <平成30年4月>	博士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(3) (7)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平6.10)	5日
65	専	准教授	イマチ リウカ 今町 憲貴 <平成30年4月>	博士(医学)	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (5)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平12.4)	5日
66	専	准教授	ヤノ ショウゾウ 矢野 彰三 <平成30年4月>	博士(医学)	臨床実習	5-6通	(116)	4	島根大学・医 学部 准教授 (平17.4)	5日
67	専	准教授	タケノミ ヨシカズ 瀧波 慶和 <平成30年4月>	博士(医学)	救急・集中治療※ 臨床実習	4後 5-6通	(4) (36)	1 4	島根大学・医 学部 准教授 (平27.10)	5日
68	専	准教授	サノ チアキ 佐野 千晶 <平成30年4月>	博士(医学)	感染症※	4前	(1)	1	島根大学・医 学部 准教授 (平28.3)	5日
69	専	講師	ハラ ノブマサ 原 伸正 <平成30年4月>	博士(医学)	腫瘍生物学※	2後	0.2	1	島根大学・医 学部 講師 (昭55.5)	5日
70	専	講師	テロイヤン ジョン アーサー Telloyan John Arthur <平成30年4月>	M. A. Sports Administration (米 国)	英語IIA(医学科) 英語IIB(医学科) 海外留学セミナー アカデミックイングリッシュA 実用英語演習I 実用英語演習II	1前 1後 1~6後 1~6前 2前 2後	1.0 1.0 (20) (20) 1.0 1.0	1 1 1 1 1 1	島根大学・医 学部 講師 (平28.4)	5日
71	専	講師	カナイ(シモヤマ) リエ 金井(下山) 理恵 <平成30年4月>	博士(医学)	臨床実習	5-6通	(36)	4	島根大学・医 学部 講師 (平8.7)	5日
72	専	講師	ヤスタク ケンジ 安田 謙二 <平成30年4月>	博士(医学)	免疫※ 成長・発達※ 臨床実習	4前 4後 5-6通	(1) (1) (4)	1 1 4	島根大学・医 学部 講師 (平26.4)	5日
73	専	講師	クマハシ ノブユキ 熊橋 伸之 <平成30年4月>	博士(医学)	運動器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (8)	1 4	島根大学・医 学部 講師 (平19.4)	5日

教 員 の 氏 名 等										
(医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
74	専	助教	マツキ ケンタロウ 松崎 健太郎 <平成30年4月>	博士(薬学)	医科基礎自然科学※	1前	0.1	1	島根大学・医学部 助教 (平19.4)	5日
75	専	助教	ハマ ノリユキ 濱 徳行 <平成30年4月>	博士(理学)	生理学Ⅱ※ 生理学Ⅱ※	2後 3前	(12) (44)	1 1	島根大学・医学部 助教 (平19.4)	5日
76	専	助教	カワイ ミホ 河合 美菜子 <平成30年4月>	博士(生命科学)	生理学Ⅱ※ 生理学Ⅱ※	2後 3前	(2) (36)	1 1	島根大学・医学部 助教 (平25.4)	5日
77	専	助教	サカタ ケイウスケ 坂下 暁介 <平成30年4月>	博士(理学)	基礎分子生物学※	1後	0.1	1	島根大学・医学部 助教 (平19.9)	5日
78	専	助教	カトリ ヒロユキ 加藤 太陽 <平成30年4月>	博士(生命科学)	基礎分子生物学※	1後	0.1	1	島根大学・医学部 助教 (平21.4)	5日
79	専	助教	ヨシガワ リンタロウ 吉川 倫太郎 <平成30年4月>	博士(薬学)	自然科学実習(物理学・化学)	1通	2.0	2	島根大学・医学部 助教 (平28.3)	5日
80	専	助教	タナカ テツヤ 田中 徹也 <平成30年4月>	博士(薬学)	薬理学※	3通	(34)	2	島根大学・医学部 助教 (平13.11)	5日
81	専	助教	ウラタ ハルキ 臼田 春樹 <平成30年4月>	博士(薬学)	薬理学※	3通	(22)	2	島根大学・医学部 助教 (平27.4)	5日
82	専	助教	カネヒロ ムツヒ 金廣 優一 <平成30年4月>	博士(工学)	微生物学※	3通	(34)	2	島根大学・医学部 助教 (平23.4)	5日
83	専	助教	イイダ ムツヒ 飯田 雄一 <平成30年4月>	博士(再生医科学)	免疫学※	2後	(74)	1	島根大学・医学部 助教 (平28.2)	5日
84	専	助教	キムラ カオリ 木村 かおり <平成30年4月>	博士(医学)	法医学※	3後	(4)	1	島根大学・医学部 助教 (平21.11)	5日
85	専	助教	フクダ マリ 福田 茉莉 <平成30年4月>	博士(文化科学)	環境保健医学Ⅰ※	3後	(4)	1	島根大学・医学部 助教 (平28.4)	5日
86	専	助教	ツムラ ヒデアキ 津村 秀樹 <平成30年4月>	博士(人間科学)	環境保健医学Ⅱ※	3後	(6)	1	島根大学・医学部 助教 (平27.4)	5日
87	専	助教	セキ ミミ 關 真美 <平成30年4月>	博士(医療薬学)	情報学・統計学演習※	1後	0.4	1	島根大学・医学部 助教 (平24.11)	5日
88	専	助教	マーフィー リン MURPHY LYNNE <平成30年4月>	Bachelor of Arts in Applied Languages (with First Class Honours) (アイルランド)	アカデミックイングリッシュB 実用英語演習Ⅰ 実用英語演習Ⅱ	1～6後 2前 2後	(20) 1.0 1.0	1 1 1	島根大学・医学部 助教 (平29.10)	5日
89	専	助教	イケガリ フミヨシ 池尻 文良 <平成30年4月>	学士(医学)	血液※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医学部 助教 (平26.12)	5日
90	専	助教	ノツ マカズ 野津 雅和 <平成30年4月>	学士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(5) (48)	1 4	島根大学・医学部 助教 (平25.4)	5日
91	専	助教	タカヨシ ヒロユキ 高吉 宏幸 <平成30年4月>	学士(医学)	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (8)	1 4	島根大学・医学部 助教 (平28.4)	5日

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
92	専	助教	カハシ ツトム 高橋 勉 <平成30年4月>	学士(医学)	血液※ 感染症※	4前 4前	(1) (1)	1 1	島根大学・医 学部 助教 (平17.4)	5日
93	専	助教	イトウ シンペイ 伊藤 新平 <平成30年4月>	学士(医学)	循環器※ 臨床実習	3後 5-6通	(2) (65)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.4)	5日
94	専	助教	ハネダ ヤスヒロ 羽根田 泰宏 <平成30年4月>	博士(医学)	成長・発達※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.11)	5日
95	専	助教	シズミ コウジ 清水 弘治 <平成30年4月>	学士(医学)	循環器※ 臨床実習	3後 5-6通	(1) (445)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平21.4)	5日
96	専	助教	ヒヤクミ リョウジ 百留 亮治 <平成30年4月>	学士(医学)(※)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平20.11)	5日
97	専	助教	カイ キョウ 高井 清江 <平成30年4月>	学士(医学)(※)	臨床実習	5-6通	(22)	4	島根大学・医 学部 助教 (平25.4)	5日
98	専	助教	ヤマモト テツ 山本 徹 <平成30年4月>	学士(医学)(※)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(5) (7)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平19.10)	5日
99	専	助教	クワタ スガール 桑田 卓 <平成30年4月>	博士(医学)	運動器※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (11)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平20.4)	5日
100	専	助教	イマテ シンジ 今出 真司 <平成30年4月>	博士(医学)	運動器※	4前	(2)	1	島根大学・医 学部 助教 (平22.4)	5日
101	専	助教	ヨシカネ ツトム 吉金 努 <平成30年4月>	学士(医学)	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (118)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.10)	5日
102	専	助教	ハギハラ シンヤ 萩原 伸哉 <平成30年4月>	学士(医学)	脳・神経※	4後	(3)	1	島根大学・医 学部 助教 (平28.4)	5日
103	専	助教	スミラ マサヒロ 洲村 正裕 <平成30年4月>	学士(医学)(※)	腎・尿路※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (45)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平17.4)	5日
104	専	助教	ミウラ ショウコ 三浦 章子 <平成30年4月>	学士(医学)	人間心理 I ※ 精神・行動※ 臨床実習	1前 4後 5-6通	0.1 (2) (25)	1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.10)	5日
105	専	助教	カハバ ミチハル 長濱 道治 <平成30年4月>	学士(医学)	人間心理 I ※ 精神・行動※ 臨床実習	1前 4後 5-6通	0.1 (2) (25)	1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平21.7)	5日
106	専	助教	ホツタ エキエ 堀田 優希江 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (323)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.4)	5日
107	専	助教	シズミ カコ 清水 香奈子 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (231)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平22.4)	5日
108	専	助教	シヨウノ アツコ 庄野 敦子 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.8)	5日
109	専	助教	マツダ タシ 松田 高志 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.9)	5日
110	専	助教	ヨシノ アヤ 吉野 綾 <平成30年4月>	博士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (7)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.9)	5日

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する適当 たり平均日数
111	専	助教	キダニ アキヒ 木谷 昭彦 <平成30年4月>	博士(医学)	Acute Care Surgery※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (3)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.8)	5日
112	専	助教	キジマ ツネカ 木島 庸貴 <平成30年4月>	学士(医学)	入門※ 臨床実習	3後 5-6通	(4) (209)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平25.10)	5日
113	専	助教	モリタ ミ 守田 美和 <平成30年4月>	博士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(3) (41)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平21.4)	5日
114	専	助教	ノカ サユ 田中 小百合 <平成30年4月>	学士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(1) (33)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.5)	5日
115	専	助教	タマガリ ユウジ 玉川 祐司 <平成30年4月>	博士(医学)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (231)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.9)	5日
116	専	助教	シロ ツヨシ 三代 剛 <平成30年4月>	博士(医学)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (228)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平24.10)	5日
117	専	助教	ミヅ シンゴ 三瀧 真悟 <平成30年4月>	博士(医学)	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (10)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平24.4)	5日
118	専	助教	アベ サトシ 安部 哲史 <平成30年4月>	学士(医学)	脳・神経※ 臨床実習	4後 5-6通	(2) (10)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.4)	5日
119	専	助教	ワタベ ノブヒデ 渡邊 伸英 <平成30年4月>	学士(医学)	生理学I※ 循環器※ 臨床実習	2通 3後 5-6通	(2) (2) (63)	2 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.10)	5日
120	専	助教	オウチ ケン 大内 武 <平成30年4月>	学士(医学)	循環器※ 臨床実習	3後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.4)	5日
121	専	助教	ハマガチ マグミ 濱口 愛 <平成30年4月>	学士(医学)	呼吸器※ がん化学療法・放射線治療※ 臨床実習	3後 3後 5-6通	(2) (1) (3)	1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.4)	5日
122	専	助教	ホッタ タカサ 堀田 尚誠 <平成30年4月>	学士(医学)	呼吸器※ がん化学療法・放射線治療※	3後 3後	(4) (1)	1 1	島根大学・医 学部 助教 (平29.4)	5日
123	専	助教	オウチ マサカ 太田 征孝 <平成30年4月>	学士(医学)	皮膚※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平25.4)	5日
124	専	助教	ヤマダ ケンジ 山田 健治 <平成30年4月>	学士(医学)	成長・発達※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (128)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.1)	5日
125	専	助教	コバヤシ ヒロリ 小林 弘典 <平成30年4月>	博士(医学)	成長・発達※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (29)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平18.4)	5日
126	専	助教	カネキ カズマ 金築 一摩 <平成30年4月>	学士(医学)	循環器※ 臨床実習	3後 5-6通	(2) (444)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平26.4)	5日
127	専	助教	シロ マイコ 城 麻衣子 <平成30年4月>	学士(医学)	臨床実習	5-6通	(205)	4	島根大学・医 学部 助教 (平27.4)	5日
128	専	助教	ハヤシ ヒコタ 林 彦多 <平成30年4月>	博士(医学)	消化器※ 臨床実習	4前 5-6通	(3) (9)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平25.6)	5日
129	専	助教	ヒヤクミ ミチ 百留 美樹 <平成30年4月>	博士(医学)	内分泌代謝・生殖※ 臨床実習	3後 5-6通	(2) (20)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.4)	5日

教 員 の 氏 名 等 (医学部医学科)										
調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	保有 学位等	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する週当 たり平均日数
130	専	助教	ヤマガミ ノブオ 山上 信生 <平成30年4月>	博士(医学)	運動器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (8)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.4)	5日
131	専	助教	コノ ミチハヤ 河野 通快 <平成30年4月>	学士(医学)	運動器※ 脳・神経※ 臨床実習	4前 4後 5-6通	(3) (2) (1)	1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.4)	5日
132	専	助教	イハシ トモカ 石橋 朋佳 <平成30年4月>	学士(医学)	周産期・女性生殖器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (99)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.1)	5日
133	専	助教	イカリ マコ 石川 雅子 <平成30年4月>	学士(医学)	周産期・女性生殖器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (99)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平20.6)	5日
134	専	助教	シズ ヤスヒコ 清水 保彦 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(2) (1228)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平17.7)	5日
135	専	助教	フチキ カフミ 淵脇 貴史 <平成30年4月>	博士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(3) (1227)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平22.9)	5日
136	専	助教	スギハラ カズノブ 杉原 一暢 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.5)	5日
137	専	助教	コヤマ ヤスロウ 小山 泰良 <平成30年4月>	学士(医学)	感覚器※ 臨床実習	4前 5-6通	(1) (1)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平12.1)	5日
138	専	助教	ナカムラ ノブミ 中村 恩 <平成30年4月>	博士(医学)	放射線基礎医学※ 放射線画像医学※ 消化器※ 臨床実習	3後 3後 4前 5-6通	(2) (1) (3) (270)	1 1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平18.6)	5日
139	専	助教	ヤマモト ノブコ 山本 伸子 <平成30年4月>	学士(医学)	放射線基礎医学※ 放射線画像医学※ 運動器※ 臨床実習	3後 3後 4前 5-6通	(2) (1) (1) (46)	1 1 1 4	島根大学・医 学部 助教 (平23.8)	5日
140	専	助教	ヤマモト ハナコ 山本 花子 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※	4後	(1)	1	島根大学・医 学部 助教 (平29.4)	5日
141	専	助教	モリ ヒデアキ 森 英明 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平27.11)	5日
142	専	助教	ヨコイ ノブヤ 横井 信哉 <平成30年4月>	学士(医学)	麻酔・全身管理※ 臨床実習	4後 5-6通	(1) (2)	1 4	島根大学・医 学部 助教 (平28.1)	5日
143	専	助手	ニシヤマ ヨウイチ 西山 祐一 <平成30年4月>	博士(保健学)	放射線基礎医学※ 臨床実習	3後 5-6通	(4) (54)	1 4	島根大学・医 学部 助手 (平27.4)	5日

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に就任するに際しては、その職務の変更に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。